

郡 山 女 子 大 学
郡山女子大学短期大学部

平 成 24 年 度

研 究 業 績 及 び 社 会 活 動

平成24年4月 ～ 平成25年3月

研究紀要編集委員会

【研究業績】（著書・論文・発表）

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
武 井 玲 子	放射性物質による食品や生活環境汚染に対する意識調査	（一般社団法人）日本家政学会第64回大会（2012年5月、於：大阪市立大学）研究発表要旨集、P.146	東日本大震災によって引き起こされた東京電力福島原発爆発事故による放射性物質の食品、生活環境汚染に対する本学学生の意識と行動実態、情報入手源、情報の内容・タイミングや風評被害に対する意識も合わせて調査し、リスクコミュニケーションのあり方を考察した。
北 川 圭 子	大学生による木育教材及び木製玩具のデザイン開発プロセス －産学官連携による木材利用の促進－	日本建築学会計画系論文集、第676号、pp1537-1543、2012年6月	実践的建築教育として、大学生が産学官連携のもとで、木の特質を学ぶことからデザイン加工に至るプロセスを検証し、その教育効果を明らかにした。
	大学生の木育に関する研究 －産学官連携による木製品のデザイン開発（1）－	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp39-40、2012年9月	建築を学ぶ大学生の木育及びその体験によって得られる協調性等の副次的な教育効果について考察した。
	大学生の木育に関する研究 －産学官連携による木製品のデザイン開発（2）－	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp41-42、2012年9月	木育教材・木製玩具のデザイン開発プロセスにおいて学生が、どのように取り組み、評価しているのかを明らかにし、考察した。
	住宅におけるバリアフリー化の実態と意識に関する基礎研究	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp1239-1241、2012年9月	住宅において急速に広まったバリアフリー化について、浸透度や意識等を明らかにした。
小 阪 康 治	現代の哲学思想（共著）	ミネルヴァ書房 2012年5月	第12章ビジネスエシックス執筆
	日本の思想を歩く	中国新聞、2012年9月18～27日	8回連載

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
山 形 敏 明	雪害予報技術の開発に関する研究－除雪行動および生活情報の取得に関するアンケート結果－	日本雪氷学会北海道支部研究発表会，北海道の雪氷No. 31、2012年	本研究は、雪害予報技術の開発を目的とし、情報を効果的に発信するための基礎資料を得るために、市民の雪かき行動および生活情報の取得などについてアンケート調査を行った結果について分析したものである。
藤 本 健四郎	専用調味料の使用状況と今後の課題（共著）	日本食育学会誌， 6（2），225-229（2012）.	カレーのルーなど、1種類の調味料で味付けが完了する専用調味料の使用状況と使用に当たっての今後の課題を検討した。ほとんどの家庭で専用調味料が使用されていた。専用調味料を使用しても、最後に味見をして、各家庭の味を作る必要性が示唆された。
	『油脂・脂質・界面活性剤データブック』	丸善（2012）	油脂・脂質・界面活性剤に関するデータブックの編集委員を務めた。
	咀嚼に関与する摂取行動調査（共著）	日本調理科学会誌， 45（5），368-371（2012）.	女子学生を対象に普通咀嚼と一口30回を目標に咀嚼したときの食事量を調査した。その結果、よく噛むことによって食事量は減らなかった。
	咀嚼に関与する摂取行動調査（共著）	平成24年度日本調理科学会大会（平成24年8月24日、秋田大学、秋田）	女子大生を対象としたアンケート調査の結果、多く噛むように意識してしる学生は25%だった。よく噛むことによって摂取エネルギーが減ることはなかった。
	植物ステロールエステルの食用油脂代替物としての機能性（共著）	平成24年度日本調理科学会大会（平成24年8月24日、秋田大学、秋田）	消化管から吸収されない植物ステロールから脂肪酸エステルを調製すると、固形油脂状の物性を持っていることに着目し、固形油脂の代替品としてパンなどに使用し、食味を評価した。
	高脂肪食負荷マウスにおけるひまわり内茎食物繊維の効果（共著）	第59回日本食品科学工学会大会（平成24年8月30日、藤女子大学、札幌）	ひまわり内茎食物繊維を高脂肪食マウスに投与すると、血漿および脂肪組織のトリグリセリドが有意に低下した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
広 井 勝	論文 野生きのこ落ち葉のセシウム濃度	日本菌学会東北支部会報 第29号（2013.3）	原発事故による放射線汚染（放射性セシウム）について福島県産の野生きのこ落ち葉を中心に検討した。
	ナラタケモドキの発光 －微弱発光測定装置による計測を中心に－	郡山女子大学紀要第49集 （2013.3）	ナラタケモドキの発光現象について微弱発光計測装置を用い検討した結果、本きのこには発光するタイプと全く発光性を示さないタイプが存在することを明らかにした。
	口頭発表 菌類放射線ネットワーク（仮称）の発足と今後の展望	日本菌学会第56回大会 （2012.5）	福島原発事故により生じた放射性物質の拡散によるきのこの汚染を把握するため、菌類放射線ネットワークを立ち上げた。
	福島県郡山市・いわき市周辺より採取した野生きのこの放射性セシウム含量	日本菌学会第56回大会 （2012.5）	2011年に採取した野生きのこの放射性セシウム濃度を調べた。平均値の上では菌根菌が腐生菌に比べ高いが、きのこの種類の差が大きかった。落ち葉の濃度は広葉樹に比べ針葉樹で高かった。
	エノキタケの脂肪酸組成および遊離アミノ酸含量について	日本きのこ学会第16回大会 （2012.9）	野生エノキタケの脂肪酸組成は低温時季採取のものほど18：3の組成比が高かった。遊離アミノ含量は栽培品で高く、特にGABAは生育するにつれ増加した。密封低温保存するとさらに増加がみられた。
	エゴマの利用に関する実態調査	日本家政学会東北・北海道支部第57回研究発表会 （2012.9）	福島県内を中心にエゴマの利用実態を調べた。エゴマの俗称は「じゅうねん」が最も一般的であった。エゴマ油、種子を利用したことがある人は県内で約40%であったが、葉を利用したことがある人は8%にすぎなかった。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
紺 野 信 弘	論文 女子大学生における体型の経年変化（共著）	郡山女子大学 研究紀要 第49集（2013年3月）	本学の学生を対象に体型の5年間の経年変化を調べた。調査した5年間では検討した形態項目については年度間において有意の変化は認められなかった。身長、体重および座高では、本学学生の平均値と全国平均値を比較した結果、年度による違いはあるが、体重と座高において本学学生の平均値が全国値より有意に重い、あるいは高い年があった。
庄 司 一 郎	論文 現代の食生活を踏まえた米粉100%パンの開発	NewFoodIndustry55巻 2 号（2013.2）	米粉のレオロジー特性を活かすことによる米粉100%パンの製造条件を明らかにすると共に、米粉の新たな応用分野（健康産業）についても論及。
	避難所における災害時の食生活に求められるもの	福島県保健衛生雑誌22巻 (1)（2013.3）	避難所での食生活支援活動の成果を踏まえつつ、災害時における食生活支援のための体制整備について検討。
	学会発表 アルギン酸を用いたGlutn-free米粉パンの調整	日本家政学会東北・北海道 支部第57回発表要旨集 (2012.9)	グルテンフリー米粉パンの添加剤としては、木材パルプを原料としたHPMCが主として用いられているが、安全・安心の観点から、海藻を原料としたアルギン酸を増粘剤として用い、米粉100%パンの品質を検討。
	東日本大震災時の避難所において提供された食事に関する実態調査	同上第57回発表要旨集 (2012.9)	避難所において実際に提供された食事の適正を評価し、避難所において提供する食事の問題点と課題について検討。
藤 原 建 樹	単著。藤原建樹 てんかんの経過。 辻 貞俊（編）てんかん	大阪：最新医学社pp235- 243, 2012	てんかんの経過は不明な点が多い。内外の文献を収集・分析し、てんかんの自然経過に関する問題点を整理した。
	単著。藤原建樹 てんかん薬物治療の終結。 辻 省次、宇川義一（編）てんかんテキスト	東京：中山書店 pp263- 268, 2012	てんかん薬物治療の終結は最も難しい臨床判断である。内外の文献をレビューし、治療終結の手順を解説した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	単著。藤原建樹 ラモトリギン	modern physician 2012；32：361-365.	新規抗てんかん薬ラモトリギンの有効性と安全性について解説した。初期用量設定における留意点を強調した。
	共著。高橋幸利、藤原建樹（5人省略7番目） 小児てんかん患者を対象としたバルプロ酸ナトリウム徐放錠（セレニカR錠200mg）の特定使用成績調査。小児科臨床	2012；65：129-37.	小児てんかん患者を対象としたバルプロ酸ナトリウム徐放錠の有効性と安全性を検証した。
深 谷 笑 子	東日本大震災を体験して、家族とは何か、家とは何か	日本家政学会 東北・北海道支部 第57回研究発表会	東日本大震災を体験した学生の実体験記録から、家族や家について震災前後の意識の変化をとらえた。
難 波 めぐみ	公家文化に見る植物性染料の考察〈第1報〉 －色料の効果について－	郡山女子大学 紀要第49集	公家文化の色料は、権力表象と薬事効果を利用し、身体を守ろうとした上代の人たちの生活があったことを見出した。
石 原 正 道	論文 数学教育における試験問題の差異および担当教員の差異の成績への影響 共著 石原正道 古山幹雄	郡山女子大学 研究紀要 第49集（2013年3月）	数学教育で問題や教員が異なる場合、学習者の成績評価にどのような差異が生じるか調べた。その結果、多少の問題の差異や教員の差異があったとしても、短期間での学習者の成績評価に大きな影響のないことが判明した。
	口頭発表 Webサイト構築における作業の収束過程 共同 山口 猛 石原正道 古山幹雄	情報処理学会 第75回全国大会講演論文集	これまで、システム開発におけるプロジェクト管理の活発な議論・改善提案がなされてきた。しかし、デザイン・ユーザビリティの保証や、独自の開発風土が及ぼす影響があると思われる「WEBサイト構築」を対象としたものは少なく、依然として構築作業の指標が曖昧である。そこで今回は、本学のWEBサイト構築作業において、Eメールを用いた作業管理を行った送受信履歴から、作業収束の振る舞いについて考察した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
菊 池 節 子	植物ステロールエステルの食用油脂代替物としての機能性（共同研究）	日本調理科学会平成24年度大会研究発表要旨集 （平成24年8月24日、秋田大学）	コレステロールに類似した構造を持っているが消化管からは吸収されない植物ステロールエステルを固形油脂の代替物として使用した際の、食品の食味と物理的性状について報告した。
	東日本大震災時の避難所において提供された食事に関する実態調査（共同研究）	日本家政学会東北・北海道支部第57回研究発表要旨集 （平成24年9月15日、福島大学）	避難所において実際に提供された食事の適正を評価し、避難所において提供する食の問題点と課題について検討した。
安 田 純 子	著書 『復興ツーリズム：観光学からのメッセージ』 「被災地と観光－福島 の地から」共著	同文館出版、2013年3月刊行	ケイショウ（景勝・継承・警鐘）の観点で福島の現状を踏まえ復興に向けた観光の役割と今後について考察した。
	論文等 「場所と人が考える震災後の観光－被災地（被災地）在住の立場から」	「総合観光研究」第11号掲載予定 総合観光学会 2013年3月	ボルノーやパスモアの考えなどを踏まえ被災地在住の立場から、場所と人という観点で観光を考えた。
	「場所と人で考える震災後の観光－被災地在住の立場から」	総合観光学会 2012年6月 総合観光学会第22回全国学術研究大会発表要旨集	被災地在住の立場から場所や人を通して観光を考えた。
	「アボリジニ文化と観光」	日本観光学会 2012年11月 日本観光学会第102回全国大会研究発表要旨集	オーストラリアの先住民であるアボリジニの文化について観光との関わりや結びつきについて考察した。
	口頭発表 「場所と人で考える震災後の観光－被災地在住の立場から」	総合観光学会第22回全国学術研究大会 総合観光学会 日本大学 2012年6月	被災地在住の立場から場所と人をコンセプトとして観光について考え発表した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「観光資源としてのアボリジナル・アート」	日本観光学会平成24年度東北支部研究大会、スマイルホテル（仙台）2012年8月	アボリジナル・アートについて紹介し、観光資源としての可能性を探り発表した。
	「アボリジニ文化と観光」	日本観光学会第102回全国大会 東海大学 2012年11月	アボリジニ文化を知らせ継続するための観光利用や観光者の興味関心との結びつきなどを考察し発表した。
熊 田 伸 子	高齢者を支える地域社会の現状と課題 －高齢化率50%を超える奥会津地方3町村の取り組みから－	日本社会福祉学会 第60回 秋季大会（平成24年10月21日 関西学院大学）	要介護・要支援認定者が2割にとどまっている奥会津地方の高齢者を支える取り組みを調査し、地域における高齢者支援のあり方を考察した。
	東日本大震災後に特別養護老人ホームが果たした役割と課題	郡山女子大学紀要第49集 (2013.3)	震災後、2年になろうとしている現段階で、各施設が抱えている課題を明らかにし、支援のあり方を考察した。
垣 花 真一郎	【著書（分担執筆）】 Oie, M., Fujie, Y., Okugawa, Y., Kakihana, S., Itaka, S., & Uebuchi, H. (2012). Self-regulated learning and creativity related to age and gender in transition from elementary to junior high school. In A-G., Tan (Ed.)	Creativity, Talent and Excellence (pp.89-106). New York : Springer.	小学校5年生、6年生、中学校1年生、2年生の1687人に対して質問紙調査を行い、自己制御学習の学年差、性差を検討した。
	垣花真一郎（印刷中） かな文字表記の習得 安藤寿康・鹿毛雅治（編）	教育心理学 慶應義塾出版 会	初学者向けに、幼児のかな文字表記の習得に音韻意識の発達が重要な役割を果たすことを解説した。
	【論文】 Fujisawa, K., Wadsworth, S., Kakihana, S., Olson, R., DeFries, J., Byrne, B. & Ando, J. (in press). A multivariate twin study of early literacy in Japanese Kana. <i>Learning and Individual Differences</i> .		かな文字の読み能力に関して、42ヵ月児の双子238組を対象に、遺伝要因と環境要因の関与の程度を検証した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	【学会発表】 シンポジウム話題提供「かな文字の特殊表記の習得機序の解明と習得支援法の開発の試み」	2012年9月 日本教育心理学会第54回総会 自主企画シンポジウム「ことばの力の発達の基盤：幼児期の読み習得と理解をめぐって」企画者：森 敏昭，村井潤一郎，白川佳子，深谷優子 話題提供者：垣花真一郎，針生悦子，藤木大介	幼児の特殊表記の認知的な機序の解明に迫った研究成果の報告と、それを活かした習得支援法の提案を行った。
渡 邊 英 勝	市町村合併後の地区社会福祉協議会設立への実践アプローチ	郡山女子大学研究紀要第49集	市町村合併が一段落した。旧市町村において地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」という）が存在するまちと、存在しないまちの合併が行われた場合、合併後に地区社協のない空白の地区が存在する場合が考えられる。 本論は、市町村合併後の地区社協空白地域にどのような手法やアプローチで、地区社協を設置してきたかのプロセスを追い、その展開過程を整理することにより、市町村合併が一段落した日本全国の類似の市町村にとって空白地区の地区社協設置の参考となることを目的とする。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	ソーシャルワーク理論の変遷と社会福祉士の地域展開に関する考察	「社会福祉士静岡」 一般社団法人静岡県社会福祉士会実践研究誌第11号	本研究ではソーシャルワーカーの質を高める一考察として、日ごろ自分たちの実践しているソーシャルワークについて、どのような理論のもと実践が展開されているのかを確認し、ソーシャルワークの土台となっている基礎理論について、歴史的に概観し、整理し、ソーシャルワーク理論の全体的な把握を行う。また、近年では、ストレングスモデルを基礎理論に、エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチなど、クライアントの心の強さや、心の変容に注目したソーシャルワークアプローチが注目されている。ソーシャルワーク理論の変遷の中で、これらの理論を駆使しながらも、ソーシャルワーカーは現代社会において、レジデンシャルソーシャルワークに埋没されることなく、地域を基盤としたソーシャルワークを展開する必要性を論じた。
泉 秀 生	泉 秀生・前橋 明・町田和彦：幼児期の生活実態に関する研究－母親の就労のある日とない日の保育園5・6歳児の生活実態－	小児保健研究71巻3号 pp.371-377, 2012.	母親の就労の「ある日」と「ない日」の保育園5・6歳児の生活時間について調査し、比較・分析し、検討を加えた。
	前橋 明・泉 秀生・石井浩子：小学校児童の生活実態とその課題（2010年調査）	運動・健康教育研究20巻1号, pp.24-44, 2012.	小学校児童12,844名を対象に生活実態調査を行い、近年の小学生の生活実態を把握し、課題と改善策を模索した。
	泉 秀生・石井浩子・前橋 明：中学校生徒の生活実態とその課題（2010年調査）	運動・健康教育研究20巻1号, pp.45-59, 2012.	中学校生徒5,590名を対象に、生活実態調査を行い、中学生の生活実態を把握し、課題と改善策を模索した。
	松尾瑞穂・泉 秀生・前橋 明：保育園幼児の生活実態（2010年調査報告）とその課題	保育と保健18巻2号, pp.61-67, 2012.	保育園幼児20,518名を対象にして、生活実態調査を行い、保育園児の実態を把握し、課題と改善策を模索した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	泉 秀生・前橋 明：岡山市の保育園児の生活実態（2011年調査報告）とその課題	日本子ども家庭福祉学会第13回全国大会，2012年6月	岡山県岡山市の保育園児の保護者を対象に、幼児の生活実態調査を実施し、その結果を発表した。
	泉 秀生・前橋 明：幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開（Ⅵ）－岡山市の保育園幼児の朝の生活実態（2011年調査報告）とその課題－	日本食育学会協議 第7回大会，2012年6月．	岡山県岡山市の保育園幼児の朝の生活実態に着目し、基本的生活習慣の乱れていることを報告した。
	Shu Izumi・Akira Maehashi Relation between the Japanese kindergartener's lesson and lifestyle in 2011	第8回アジア幼児体育学会 in 北京，2012年8月．	日本の幼稚園幼児を対象に行った調査の結果から、習い事と生活リズムとの関連性について分析し、報告した。
	泉 秀生・松尾瑞穂・前橋 明：幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開（Ⅶ）－幼稚園幼児の生活実態（2011年調査報告）とその課題－	日本幼児体育学会 第8回大会，2012年9月	幼稚園幼児の保護者を対象に、幼児の生活実態調査を実施し、その結果を発表した。
阿 部 恵利子	大学生による木育教材及び木製玩具のデザイン開発プロセス －産学官連携による木材利用の促進－	日本建築学会計画系論文集，第676号，pp1537-1543，2012年6月	実践的建築教育として、大学生が産学官連携のもとで、木の特質を学ぶことからデザイン加工に至るプロセスを検証し、その教育効果を明らかにした。
	大学生の木育に関する研究 －産学官連携による木製品のデザイン開発（1）－	日本建築学会大会学術講演梗概集，pp39-40，2012年9月	建築を学ぶ大学生の木育及びその体験によって得られる協調性等の副次的な教育効果について考察した。
	大学生の木育に関する研究 －産学官連携による木製品のデザイン開発（2）－	日本建築学会大会学術講演梗概集，pp41-42，2012年9月	木育教材・木製玩具のデザイン開発プロセスにおいて学生が、どのように取り組み、評価しているのかを明らかにし、考察した。
	住宅におけるバリアフリー化の実態と意識に関する基礎研究	日本建築学会大会学術講演梗概集，pp1239－1241，2012年9月	住宅において急速に広まったバリアフリー化について、浸透度や意識等を明らかにした。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
岡 部 聡 子	女子大生における早食いとBMIの関係	本学研究紀要第49集	早食いは肥満を引き起こす生活習慣要因とされているが、実際の喫食実測値とBMIとの関係を調べ妥当性について考察する。
	女子大生における早食いとBMIの関係	第24回福島県栄養改善学会 平成25年2月27日	発表者：横田和子、岡部聡子
佐 藤 典 子	著書 理系アタマを育てる「家庭でできる理科実験」	週刊住宅新聞社	お茶の水女子大学の理科教育人材養成プログラムをもとに、小学校理科の自由研究に役立つ科学実験を紹介。宇宙飛行士山崎直子氏が本の帯に登場した。
	学術論文 「科学実験を活用した消費生活講座 くらしの中のアルコール」	日本消費者教育学会誌 第31冊（2012）単著	自ら学び、考え、行動できる自立した消費者を育成することを目的に、「アルコール（酒）」をテーマに選び、実験や演示を行いながら酒のリスクや適量、上手に付き合う方法などを知る機会の提供を試みた。
	「家庭科教員養成におけるカイコの教材化の検討－教員に求められる資質豊かな人間性を育むことを目指した－」	郡山女子大学紀要第48集 共著	カイコは理科教育においては小・中・高で取り上げることのできる教材である。カイコの飼育経験をととして豊かな人間性を育むことを目指し、教材開発を試みた。
	「科学実験を活用した消費生活講座 くらしの中のアルコール（2）」	日本消費者教育学会誌 第32冊（2013）投稿済 単著	くらしの中で身近な「アルコール」をテーマに選びふたつの視点から市民向け講座を試みた。1つ目は、酒とアルコールについてである。もうひとつは、アルコールの引火性に着目し、化学実験の演示を交えて、家庭用品の安全な使用や廃棄方法を情報提供した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	口頭発表 科学実験を活用した消費生活講座 「くらしの中のアルコール」(2)	日本消費者教育学会関東支部研究発表会（於：城西国際大学） 平成24年6月	「くらしの安全 身近な化学物質」シリーズのうちのひとつのコンテンツである。目的は、安全な生活を送るために、科学的根拠に基づいたハザードとリスクを知り、その対処法を学ぶことである。この講座は、受講者が実験を体験できるように工夫されている。
	科学実験を活用した消費生活講座 「くらしの中のアルコール」(2)	日本消費者教育学会第32回全国大会（於：岡山川崎医療福祉大学） 平成24年10月	関東支部研究発表会におけるフロアの皆様からの助言や意見を取り入れ、内容を充実させて発表に臨んだ。講座は、東京都多摩地区で2日間コースで開催された。この発表では、「アルコールと生活用品の関わり」の視点から行われた講座の結果を報告した。
	アルコール（酒）を題材にした食と健康を考える講座の試み	日本食生活学会第44回大会（於：九州女子大学） 平成24年10月	大人や管理栄養士を目指す学生を対象に、次の3点を目的として授業を展開した。①日々の生活に役立てる。②健康日本21で推奨されている酒の適量を情報提供するだけでなく、「純アルコール量の計算のしかた」に着目し、飲酒量と純アルコール量のちがいを理解させる。③酒のリスクだけでなく「酒の歴史・文化」「微生物がもたらす恩恵」なども解説し、上手な付き合い方を促す。
	ESDとしての家庭科の構成概念の検討	日本家庭科教育学会2012年度例会（於：日本女子大学）平成24年12月	家庭科におけるESDの構成概念を整理した結果「(多様な)生活文化」,「環境(エコロジー)」,「人権(安心・安全)」,「地域(つながり・かかわり)」,「ライフスタイルの変革」の5つの概念を提示することができた。今後は、この構成概念を精査するとともに、授業事例の提案を計画している。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	ESDとしての家庭科の現状と課題 －家庭科教員対象予備調査を踏まえて－	日本家庭科教育学会2012年度例会（於：日本女子大学）平成24年12月	家庭科におけるESDの実態把握を目的として、各種実態調査の先行事例の検討と福島県や山梨県の家庭科教員を対象とした予備調査を実施した。今後は、質問紙による全国各地の教員等を対象とした本調査を実施する予定である。
影 山 志 保	【口頭発表】 Imaizumi Y., Suzuki N., Shiraishi F., Nakajima D., Serizawa S., Kamata R., <u>Kageyama S.</u>, Kobayashi J., Sakurai T., Shiraishi H. Exposure and ecological risk assessment of herbicides in Japan : validation and factor analysis for predicted concentrations of herbicides by the geo-referenced multimedia environmental model G-CIEMS. Kamata R., Shiraishi F., Takahashi S., Shimizu A., Nakajima D., <u>Kageyama S.</u>, Sasaki T., Temma K. Verification of the effects of transovarian exposure to p,p'-DDT and p,p'-DDE on avian reproduction using Japanese quails. Yagishita M., <u>Kageyama S.</u>, Takemura T., Shiraishi F., Aoki Y., Shiraishi H., Wang Q., Ohshima S., Goto S., Nakajima D. Distribution of polycyclic aromatic sulfur heterocycles in total suspended particle and gaseous phase in Japan.	6th SETAC World Congress/SETAC Europe 22nd Annual Meeting, Germany 20-24 May 2012 p.130 The 6th International Congress of Asian Society of Toxicology, The Journal of Toxicological Sciences, 37, S434-S434 (2012) International Symposium on Aerosols in East Asia and Their Impacts on Plants and Human Health, Abstracts, p.144-145 (2012)	日本における除草剤による曝露実態を、G-CIEMS環境モデルを用い予測し、リスク評価を行った。 日本ウズラを用い、p,p'-DDTおよびp,p'-DDEの鳥類の繁殖への影響を検証した。 日本の浮遊粉じんと粉塵中の含硫黄多環芳香族炭化水素の分布について報告した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	白石不二雄, 中島大介, 中山祥嗣, 鈴木 剛, 滝上英孝, 新田裕史, 白石寛明 (環境研), 郷右近順子, 赤崎千香子 (宮城保環セ), 影山志保 (郡山女大), 後藤純雄 (麻布大) (2012) invitro バイオアッセイによる東日本大震災がれき一次集積場付近環境水のモニタリング	第21回環境化学討論会講演 要旨集. P-005	東日本大震災のがれき集積場の環境水の発光umu試験による遺伝毒性、アリルヒドロカーボン受容体 (AhR) 結合活性について調べ報告した。
	【誌上発表】 M. Allinson, S. Kageyama, D. Nakajima, R. Kamata, F. Shiraish, S. Goto, S.A. Salzman, G. Allinson : A Pilot Survey of 39 Victorian WWTP Effluents Using a High Speed Luminescent umu Test in conjunction with a Novel GC-MS-database Technique for Automatic Identification of Micropollutants.	<i>Water Science and Technology</i> (2012) 64 (4) 768-774. doi. 10.2166/wst.2012.242	オーストラリアビクトリアの処理場の廃水のマイクロ汚濁物質について、自動識別能を構築したGC-MSと発光umu試験を用い評価することを試みた。
	【総説・解説】 中島大介、影山志保、後藤純雄：カビ（臭）とMVOCについて	かびと生活 (2012) 5 (2) 82-89	微生物が発生するかび臭であるMVOCについて、その種類と健康影響について紹介した。
冨 本 栄 次	実践研究 「卓越したセンタープレーヤーによる1：1の突破に関する動きのコツ」	日本ハンドボール学会 「ハンドボールリサーチ」 第一巻 2012年	スポーツにおいて動きを指導する場面では「動きがどのようなになっているか」といった客観的な情報だけではなく、「どのように感じて動くことができるのか」といった主観的な情報を伝えることが効果的であるため「動きのコツ」について調査し、実践現場へ提供した。
郡 司 尚 子	ゴボウの食物繊維	月刊食生活 第106巻、第12号 (2012)	ゴボウの不溶性食物繊維が栽培品種や収穫時期が異なってもほとんど変化しないのに対し、水溶性食物繊維は収穫時期の違いや土中保存することなどにより、変動することがわかった。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	口頭発表 エノキタケの脂肪酸組成および遊離アミノ酸含量について	日本きのこ学会第16回大会 (2012. 9)	野生のエノキタケの脂肪酸組成は低温時季採取のものほど18：3の組成比が高かった。遊離アミノ酸含量は栽培品で高く、特にGABAは生育するにつれ増加した。密封低温保存するとさらに増加がみられた。
	エゴマの利用に関する実態調査	日本家政学会東北・北海道支部第57回研究発表会 (2012. 9)	福島県内を中心にエゴマの利用実態を調べた。エゴマの俗称は「じゅうねん」が最も一般的であった。エゴマ油、種子を利用したことがある人は県内で約40%であったが、葉を利用したことがある人は8%にすぎなかった。
横 田 和 子	植物ステロールエステルの食用油脂代替物としての機能性（共同研究）	日本調理科学会第24年度大会口頭発表 (2012. 8. 24・25)	植物ステロールエステル（PSE）は固形脂に類似した構造を持っているが、消化管からは吸収されない。PSEを、製パンやカレールウに低カロリー代替物として添加した際の食品の食味と物理的性状に与える影響を評価した。
	女子大生における早食いとBMIの関係（共同研究）	第24年度福島県栄養改善学会口頭発表（2013. 2. 27）	早食いは肥満を引き起こす生活習慣要因とされているが、実際の喫食実測値とBMIとの関係を調べ妥当性について考察する。
	女子大生における早食いとBMIの関係（共同研究）	本学研究紀要第49集	早食いは肥満を引き起こす生活習慣要因とされているが、実際の喫食実測値とBMIとの関係を調べ妥当性について考察する。
石 村 由美子	女子学生における正月料理の摂取状況と意識調査	日本調理科学会平成24年度大会 （ポスターセッション 秋田大学）平成24年 8 月	「調理文化の地域性と調理科学」における調理項目を「行事食」とし、中でも特に認知・喫食経験が高率であった正月料理をテーマに、本学学生及び保護者を対象にして3日間の食事記録を調査した結果を分析し考察を加えて発表した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
田 辺 真 弓	「大正・昭和初期における衣服観」	服飾美学会平成24年度大会・通算第95回研究発表会（関東学院大学KGU関内メディア・ビジネスセンター，平成24年6月）	当時の衣服材料の変化や新感覚の和服デザインが、一般女性の衣服観にどのような影響を与えたかを考察した。
近 藤 榮 昭	「福島県救荒食誌 全」の「補食調理法」について	伝統食品の研究 No.39. p45~55（2012）	福島県は明治36年に「福島県救荒食誌 全」を発行した。その「第6款補食調理法」について解説し考察した。
坂 上 茂	基礎生化学	アイ・ケイコーポレーション	主に管理栄養士課程・栄養士課程の大学生を対象とした生化学の教科書「基礎生化学」の一部（酵素の章）を分担執筆した。
須 田 良 子	保育内容「健康」	青鞥社（2013.3） 共著	本書は保育者養成課程における保育内容5領域の1つである「健康」の教科書として執筆した。
三 瓶 令 子	「子どもの歌集」（仮題）の執筆協力	音楽之友社 （2013.3）（共著）	全国大学音楽教育学会が学会創設25周年事業として、保育士、幼稚園、小学校養成における音楽教育書として編纂した。
	「災害による学生の保育意識の変化」	日本保育学会第65回大会 （2012.5.5）（共同）	一昨年からの継続研究である。 学生へのアンケート調査を分析し、その結果をポスター発表として報告した。
	第34回「おかあさんコーラスまつり～2012“音楽都市こおりやま”市民音楽祭主催行事～	郡山市民文化センター （2012.9.17） 主催：郡山市民文化センター 合唱連盟	附属幼稚園の母親による合唱団「KGCマミーコーラス」の指揮者として出場。「ほたるこい」「ずいずいずっころばし」「七つのこ」を披露。また全員合唱の指揮・指導も担当した。
富士盛 公 年	『事例で学ぶ〔保育相談支援〕』 第6章 事例で学ぶ様々な施設での相談支援 咲間まり子編著	2012年4月 大学図書出版	幼児教育学科の科目「保育相談支援」の教科書として、実際の施設での相談支援の在り方を、事例を通じてわかりやすく解説した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
上 野 智 子	原著論文（単著） 「福島県における無形民俗文化財に対する原発事故の影響－こども民俗芸能「請戸の田植踊り」の変遷と変容から－」 文化庁補助事業「福島県域の無形民俗文化財被災調査」平成23年度中間調査報告書（共著）	『比較舞踊研究』第19巻第1号、平成25年3月31日（掲載予定） 平成24年3月31日（昨年度の報告に漏れていましたのでご報告します）	福島県浪江町のこども民俗芸能「請戸の田植踊り」について、原発事故後の変遷と変容を明らかにした。
村 田 清	ジェントルティーチングの理論と実際 保育実習施設学びの要点	郡山女子大学研究紀要第49号 2013年 保育実習ハンドブック（大学図書出版2012年、共著）	疎外されている人々への心の援助法であるジェントルティーチングに関する研究 保育実習施設である児童養護施設と知的障害児・者施設の内容について記述
久 家 三 夫	「彼等に憩いを」 「愛しき大地」 演劇ポスター「渡利椿館・安寿と逗子王の母」 小山田満月・作演出	○第89回春陽展 国立新美術館 4／18～4／30 ○第7回会津美里町総合美術展 9／7～9／14 ○第80回福島県美術協会展 11／12～11／18 ○第66回福島県総合美術展 12／7～12／16 ○第7回ふるさと福島伝承文化再発見事業 福島テルサ 7／29	（F130号キャンバスにアクリル・金箔） この世界の様々な事象や人間を素材に、その真理の可視化を試みたもの。平面造形として表現。 春陽展東京展（国立新美術館）の後、名古屋展・大阪展に巡回、9月に会津美里町総合美術展、11月には福島県美術協会展（福島県文化センター）で展示発表した。 （F20号キャンバスにアクリル・金箔） 招待出品 （B2版 4色刷） 主催：ふるさと福島伝承文化再発見事業実行委員会 演劇広報用のポスター・チラシ制作

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	装幀「生活禅のすすめ」 浄慧 著	○H.24.12.3 発行 山喜房佛書林	B5版412ページ・中国で発行された仏教書の日本語訳版。何 燕生・井上浩一・齋藤智寛・渡辺東一郎 共訳
浅 野 章	「輪廻転生」	“うつくしま日中現代美術交流展” 須賀川市・福島空港ビル 2012年 4 月	日中双方31名のアーティストによる交流展を開催。「人の心の中にある原初的なもの。そして今の自分の記録としての“風景”。」というテーマを基に油彩画で表現した計12点の作品を発表した。
	「なにが真実か」	“第86回国展” 東京六本木・国立新美術館 2012年 5 月 その後、愛知県美術館ギャラリー・大阪市立美術館・福岡市立美術館を巡回	同上テーマの大型作品（182×227cm）、1 点を発表。
	「素描」	同上“チャリティー展” 2012年 5 月	同上テーマの素描作品 1 点を発表。
	「三美神・バラ色」	“うつくしま日中現代美術交流展” 中華人民共和国上海市 上海大学美術学院画廊 2012年 7 月	日中双方17名のアーティストによる交流展。同上テーマの作品、計 9 点を発表。
	「初音Ⅱ」	“オーロ遊び展” いわき市・アートスペース 泉 2012年 8 月	同上テーマの作品 1 点を発表。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「忘れられた塔」	“中日交流展・流” 中華人民共和国上海市 香江文化画廊 2012年 8 月	日中双方 7 名のアーティストによる交流展。 同上テーマの作品、計 6 点を発表。
	「海のはなし」	“中日現代美術交流展” 中華人民共和国上海市 徳佳芸術空間 (DegasGallery) 2012年 9 月	日中双方 15 名のアーティストによる交流展。 同上テーマの作品 1 点を発表。
	「樹魂」	郡山市総合美術展 郡山市文化センター 2012年 11 月	同上テーマの作品 1 点を発表。
	「華麗なる関係」	福島県総合美術展 福島県文化センター 2012年 12 月	同上テーマの作品 1 点を発表。
岡 部 富士夫	・作品発表・編曲		
	ベー・プリラーレ	4 月 15 日	郡山市民文化センター
	さくら	6 月 2 日	啓声会
	日本作曲家協議会震災復興事業 仙台市立鳴瀬第一中学校校歌管弦楽編曲		日本作曲家協議会
	・演奏会（指揮・審査）		
	郡山吹奏楽団スプリングコンサート	4 月 15 日	郡山市民文化センター
	お母さんコーラス東北大会	6 月 10 日	盛岡県民会館

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	復興記念コンサート（合唱）	7月6日	浜離宮朝日ホール
	アンサンブルフェスタ	7月8日	福島市音楽堂
	吹奏楽コンクール県大会	7月23日	喜多方プラザ
	復興記念コンサート（オーケストラ）	8月5日	東京国際フォーラム
	NHKコンクール高校の部（審査）	8月22日	福島市音楽堂
	南会津コンクール小中学校の部（審査）	8月23日	御蔵入交流館
	合唱コンクール県大会	9月2日	郡山市民文化センター
	お母さんコーラス祭り	9月17日	郡山市民文化センター
	オパールコンサート	9月23日	福島市音楽堂
	合唱コンクール東北大会	9月30日	郡山市民文化センター
	お母さんコーラス県大会（審査）	10月7日	矢吹町文化センター
	郡山女子大学定期演奏会	10月28日	建学記念講堂
	クリスマスコンサート	12月2日	ハマツ
野 沢 謙 治	「明りの風俗誌－1920年代都市の明り－」	『風俗史学』45号 (2012年6月)	都市における電気の明りから都市における楽しみと視覚の変化を考察。
	「東北地方南部の田植え踊りにみる馬の民俗」	『福島の民俗』41号 (2013年3月)	踊りや唄の中の馬と江戸時代後期の農村で飼育されていた馬の比較。
	「家世実記」にみる会津藩保科家・松平家の冠婚葬祭	第53回 日本風俗史学会・ 会津大会での発表 2012年10月	大名家の藩主の冠婚葬祭の実態をあきらかにした。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
齋 藤 美保子	ダリとファッション	諸橋近代美術館 平成24年 7月7日～11月30日 テー マ展示	企画から参加した同テーマ展示の中で、香水オー ダスの発売とホットパンツの流行から、ダリ原画 ＜オーダス＞の制作年を、ロンドンのオークショ ン会社が示した1964年ではなく、1971年であると 指摘し、解説した。
	今井つる女の揮毫句 単著	『国文学年次別論文集 平 成21年版』、平成24年12月、 学術文献刊行会	郡山女子大学紀要45集に掲載した同名論文の転載 収録
	浅井忠筆デッサン＜草屋根＞に関する一考察	『郡山女子大学紀要 第49 集』、平成25年 3 月、郡山 女子大学	浅井忠の画業を検討し明治期の資料を調査して、 郡山女子大学収蔵のデッサン＜草屋根＞は、西洋 画を学ぶ初学者用に浅井忠が描いた絵手本である、 という結論に至った。
何 燕 生 (福島寅太郎)	拈華微笑的思想史	『中国禅学研究』(上)、中 州古籍出版、2012年(中 国・河南省) 16－28ページ。	以前学会で発表した同名論文の再録。単行本。
	震災死と宗教の役割 －四川大地震と東日本大震災を事例に－	『宗教研究』第86巻374号 (掲載予定)。日本宗教学 会。2013年 3 月。386ペー ジ。	3.11をきっかけに「自然災害と宗教」に関心を 持つようになり、本論文はその成果の一部である。
	20世紀60年代的初期禅宗研究－以来印順法師的 『中国禅宗史』為問題的討論－	「第三屆黃梅禪宗文化高峰 論壇論文集」(下)収録。 同フォーラム発行。2012年 12月(中国・湖北省)、366 －375ページ。	敦煌禅文献の発見以来の禅研究のあり方について、 印順氏の『中国禅宗史』(大正大学に提出された 博士学位請求論文)を取り上げて論じた。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	『生活禪のすすめ』	日本語訳の企画と序章、第一章の日本語訳を担当。山喜房出版、2012年（東京）、A5判、420ページ。	現代中国高僧浄慧氏による主著の日本語訳。「生活禪」は著者が提唱している新しい仏教思想。
太 宰 待 子	型絵染着物 「前麻伊」	第86回国展（2012.5.2-5.14） 国立新美術館（東京・六本木）	自然界にモチーフを求め、型絵染の幾何学的構成で「ぜんまい」を表現した着物の作品及び国画会工芸部図録に掲載。
	型染卓布・ 「前麻伊」ポストカード	第85回国展チャリティー展 （2012.5.27-5.19） 国立新美術館（東京・六本木）	＜自然保護・社会福祉のためのチャリティー＞ 自然界にモチーフを求め、型絵染で表現した作品及び型絵染着物「前麻伊」のポストカード
	太宰待子草木染展（個展）	法蔵寺内ギャラリー （2012.7.24-7.29） 福島県三春町法蔵寺内	三春町法蔵寺内にて法蔵寺植栽の蓮の蓮染と近隣の植物を採取して草木染の作品を展示発表。25点
	型絵染着物「みなも」	第21回河北工芸展 （2012.10.19-10.24） 宮城県仙台市せんだいメディアアーク6F	自然界にモチーフを求め、幾何学的構成で表現した着物の作品及び図録に掲載（河北新聞紙上作品掲載）。
	型絵染着物「芭蕉紋様」	国展工芸部「秋季展・受賞作家展」（2012.12.8-12.11） 銀座アートホール（東京都中央区銀座）	自然界にモチーフを求め、型絵染で表現した着物の作品
	太宰待子染色展（個展）	新潟市赤羽ギャラリー （2013.2.8-11）	自然界にモチーフを求め、型絵染で表現した着物と帯の作品発表。 着物10点・帯10点（六通6・全通4）

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
知 野 愛	【論文】 戦後農村の生活改善普及事業と家電製品 －スライド資料に関連して－	郡山女子大学研究紀要第49 集（2013年3月）	生活改良普及事業で用いられた家電製品の紹介ス ライドに注目し、当時の台所家電製品普及率や生 活の変容を考察した。
	【辞典項目分担執筆】 「田村直臣」（1858-1934）	『明治時代史大辞典第2 巻』（2012年7月）	“The Japanese Bride”を米国で英文で刊行、帰国 後日本語版を刊行したが日本の家族主義批判と糾 弾された。『子供の友』の刊行等、児童教育にも 尽力した。
	「日本の花嫁事件」	『明治時代史大辞典第3 巻』（2013年1月）	明治26年に田村直臣が『日本の花嫁』を刊行した が家族主義的国家主義・反欧化主義の高まりの中 で糾弾された事件。
	「Ulysees Grant Murphy」（モルフィ） （1869－1967）	同上	米国宣教師。名古屋英和学院で2年間英語教師を 勤めた後、娼妓を原告として娼妓廃業届連印請求 訴訟を起こし勝訴、全国的な自由廃業の先駆けと なった。
	【口頭発表】 「戦後農村の生活改善普及事業の一側面－ス ライド『福島県内の家計簿グループ』を中心に －」	日本家政学会東北・北海道 支部第57回研究発表要旨集 （2012年9月15日）	戦後生活改善普及事業の一側面として県内の家計 簿グループの活動内容、スライドにみる当時の生 活経営上の課題等を調査考察した。
古 山 幹 雄	論文 「数学教育における試験問題の差異および担当 教員の差異の成績への影響」 共著 石原正道 古山幹雄	郡山女子大学研究紀要第49 集（2013年3月）	数学教育で、問題や教員が異なる場合学習者の成 績評価にどのような差異が生じるか調べた。その結 果、多少の問題の差異や教員の差異があったとし ても、短期間での学習者の成績評価に大きな影響 のないことが判明した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	口頭発表 「Webサイト構築における作業の収束過程」 共同 山口 猛 石原正道 古山幹雄	情報処理学会 第75回全国大会 講演論文集	これまで、システム開発におけるプロジェクト管理の活発な議論・改善提案がなされてきた。しかし、デザイン・ユーザビリティの保証や、独自の開発風土が及ぼす影響があると思われる「WEBサイト構築」を対象としたものは少なく、依然として構築作業の指標が曖昧である。そこで今回は、本学のWEBサイト構築作業において、Eメールを用いた作業管理を行った送受信履歴から、作業収束の振る舞いについて考察した。
會 田 久仁子	①災害時炊き出しマニュアル 誰でもができる炊き出しを目指して（共著）	一般社団法人日本調理科学 会災害時のメニュー開発に 関する研究委員会発行 株式会社東京法規出版 2012年8月	NPO-CAMPERのボランティア経験に基づき「おいしく栄養バランスがよくしかも誰にでも簡単に作れる食事」のメニュー開発を日本調理科学会が特別研究として始めて8年になる。学会全国6支部の地域性を生かしたメニューを、50人分単位のメニューとして構成し、使いやすさを求めてまとめた本である。炊き出しメニュー編地方メニュー東北・北海道地域を担当した。
楢 野 信 子	食べ物と健康－食品学－ （共著）	光生館 2013年4月発行	第1章「人間と食品（食べ物） 1. 食文化と食生活 2. 食生活と健康 3. 食料と環境問題 4. 食品成分表（と食生活）」を担当した。
	食品加工学と実習・実験 （共著）	光生館 2013年4月発行	第1部 理論 第1章「食品の加工法 1. 物理的加工法 2. 化学的加工法 3. 生物的加工法」、第5章「加工食品の規格基準と表示 1. 食品の表示と法律 2. 健康や栄養に関する表示 3. 食品の規格基準」、第3部 実験その他「食品の官能評価」を担当した。
熊 田 みちよ	郡山市民オーケストラ第44回定期演奏会 弦楽トリオミニコンサート	平成24年6月23日 平成24年8月18日	郡山市民文化センター大ホール 総合南東北病院

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	弦楽アンサンブルコンサート 「子どもの歌集」	平成24年11月4日 平成25年3月刊行予定	泉区根白石市民センター 全国大学音楽教育学会創立25周年記念事業として、 保育士・幼・小学校教員養成における音楽教育書 として編纂・調査・協力。
早 川 仁	「箱の家」 「待つ人」 「2012, 3, 12, 15:36 Fukushima」	福島県県南美術展 (郡山市文化センター) 会期10/18(木)~10/21(日) 現代童画展 (東京都美術館) 会期11/8(木)~11/15(木) 福島県総合美術展 (福島県文化センター) (洋画の部) 会期12/7(金)~16(日)	F-20号 キャンバス・油彩 F-50号 キャンバス・油彩 F-50号 キャンバス・油彩 委嘱出品
草 野 葉 子	「現・SQUARE・2012」 「Composition」	第62回モダンアート展(東京都美術館)平成24年4月 第27回モダンアート福島支部展(福島市民ギャラリー)平成24年8月	幾何学的な虚像と鏡面そのものを構成したなかに、 見る人と展示空間も含めた世界を表現。
滝 田 良 子	「みてすぐわかる保育実習」	サンウエイ (共著) (2012.4)	～保育者をめざす人のために～ 子どもの発達と関わりについて 保育の知識はもとより、実習の意義についても体系的にすでに身につけていることを前提として 「いかに保育現場に適応するか」に焦点を絞って執筆した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「家庭教育・幼児教育におけるわらべうたの意義」	郡山女子大学紀要第49集 (2013.3)	人の関わりが生み出す力を、わらべうたを通し具体的に明記し、乳幼児文化の継承としての教育的役割を理論付け、わらべうたが、子どもの人間発達形成に的確なかかわり遊びであることと、多面的な教育力を有していることを、理論と実践報告で提示し、日本人が伝えてきた乳幼児文化の継承の意義を明らかにした。
	子育て応援「すくすくキラキラ」	福島民友「くらしプラス」 2012.4～2013.3まで 50集	子育てを喜びとして、子どもに限りない愛情を注ぐことが出来るために、多方面からの子育てについて述べた。
	「保育者の専門性を高める工夫について」	棚倉第一園舎職員研修会 第1回2012.6 第2回2012.10	
	「保育者の資質の向上を図るために」	棚倉第二園舎職員研修会 2012.11	
	「保育の専門性とは」 「保育実習のあり方について」	郡山市認可保育所所長会 2012.7	
	「明日からの保育に役立つあそび」	平成24年度企業保育を支える講座 2012.12	

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「求められる子育て支援～子育てサポートチームに期待すること～」	平成24年度地域子育て サポートチーム養成研修 福島県教育委員会 福島県男女共生センター 2012.10.12 郡山市労働福祉会館 2012.10.19 会津稽古堂 2012.10.26 下郷ふれあいセンター 2012.11.15 いわき市合同庁舎 2012.11.16 相馬市総合福祉センター 2012.11.29 中島村生涯学習センター 2012.11.30	
	「考えよう、地域の力、家庭の力、学校の力」	平成24年度地域家庭教育推 進県中ブロックセミナー 福島県教育庁県中事務所 2012.12.12	
	「虐待から見える子どものすがた」	郡山市私立保育園協会 2013. 2.23	
	必修領域Ⅱ「園内外の各種課題に対する組織的 対応のあり方について」	平成24年度 KGCサマーリフレッシュ	

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
郡 司 賀 透	<著作> 「中等理科のカリキュラムの展開」(分担), 大高泉編	『新しい学びを拓く理科授業の理論と実践中学・高等学校編』, ミネルヴァ書房	中等理科のカリキュラムを展開する基本的な視点を示すため, 戦後の中等理科教育にみられるカリキュラムの構成を解説した。
	<論文> 「女子学生が期待する子どもの科学的な体験に関わる父親グループのサポートー幼児教育教員・保育士を志望する女子学生への調査からー」(単著)	『日立家庭教育研究所紀要』, 第34号	幼児教育教員・保育士志望学生が期待する子どもの科学的な体験に関わる父親のサポートをアンケート調査と自由記述の分析から調べた。
	「アメリカ初等科学教科書における算数科との関連づけ」(共著)	『郡山女子大学研究紀要』, 第49集	小学校において求められる算数的な要素と理科の学習単元との関連づけのあり方を考えるため, アメリカの初等科学教科書を分析した。
	「理科教育からみた幼稚園の領域・環境と小学校生活科のものづくり活動の特徴ーアメリカ初等科学教科書におけるハンズ・オン活動との比較ー」(共著)	『郡山女子大学研究紀要』, 第49集	幼稚園教諭・保育士養成課程における科学の「探究の過程」および工学の「デザイン」に着目した養成プログラムの必要性を論じた。
	<口頭発表> 「小学校理科教員養成課程における教育内容の在り方ーアメリカ初等科学教科書にみられる算数的な要素の事例分析ー」(共同)	第51回日本理科教育学会東北支部大会 (山形大学, 11月3日)	アメリカの初等科学教科書を分析して, 小学校理科において求められている算数的な要素と理科の学習単元との関連づけの仕方について, その一端を明らかにした。
深 谷 登喜子	「1960年代の日本中等理科教育における化学工業教材選択の視点ー理科教育課程政策と時代的背景に着目してー」(単独)	第51回日本理科教育学会東北支部大会 (山形大学, 11月3日)	1960年代の中学校・高校理科教科書の記述内容を分析したり, 教師用指導書を手がかりにして工業に関する教材選択の意図を明らかにした。
	復興支援 田部井淳子主催コンサート	6月15日	浜離宮朝日ホール
	武蔵野音楽大学新人演奏会	2013年3月3日	ミューカルがくと館

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
桑 野 聡	「貴族身分と封建制」	堀越宏一・甚野尚志 編 『15のテーマで学ぶ中世ヨーロッパ史』 ミネルヴァ書房 2013.1.	13人の中世史研究者との共著の一章を担当。中世ヨーロッパの社会構造を特徴づける封建制の概念の多様性と歴史的展開を整理し、その担い手たる貴族身分の成立と貴族文化の特徴を解説した。
	「イギリス王室のルーツを辿る－中世ドイツ貴族の世界」	『郡山女子大学紀要』 第49集 2013.3.	放送大学福島学習センター公開講演で行った内容に加筆修正を加えた論文。現イギリス王室の始祖とされるハインリヒ獅子公を手掛かりに、12世紀の中世ヨーロッパ貴族の家意識と文化の特徴を考察した。
	「中世ヨーロッパの食文化－ソーセージとビール」	『文化学科資格課程報告集』 第15集 (2013.3.)	2012年9月9日のオープンキャンパス模擬授業で行った内容をまとめた。中世ヨーロッパの食の情報がどのように伝えられているのかを解説した後、ソーセージとビールを例に大航海時代によって豊富な食材がヨーロッパにもたらされる前の食の在り方を紹介した。
	[口頭発表] 「エリザベス女王即位60年記念 イギリス王室のルーツを辿る－中世ドイツ貴族の世界」	放送大学福島学習センター 公開講演 2012.8.5.	現イギリス王室の始祖とされるハインリヒ獅子公を手掛かりに、12世紀の中世ヨーロッパ貴族の家意識と文化の特徴を紹介した。
會 田 容 弘	「山形県の旧石器研究－これからの展望－」	『山形考古』第9巻第4号 pp.1～12	山形県の旧石器研究史をまとめ、今後の研究の方向を提示した。
	「会津若松市笹山原遺跡No16の発掘調査－古代の土師器生産を中心として－」	『平成24年度福島県考古学会第54回発表要旨』 pp.23～26	笹山原遺跡No.16から検出された平安時代の製作工房跡、焼成跡、粘土採掘坑と製品（土師器）から、古代会津地方の土師器生産の様相を復元した。
	2012「山形県湯の花遺跡・群馬県稲荷山V遺跡出土黒曜石資料の産地分析」（建石徹・加藤稔・渋谷孝雄・小菅将夫・二宮修治と共著）	『北関東地方の細石刃文化予稿集』 pp.90～94	湯の花遺跡と稲荷山V遺跡から出土した黒曜石の産地分析を行った。その結果、湯の花遺跡から出土した黒曜石が北海道白滝産であることがわかった。旧石器時代の資料としては新発見である。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「笹山原遺跡No.16第3石器集中の動作連鎖仮説に基づいた石器技術研究序説」	『第26回東北日本の旧石器文化を語る会 予稿集』 pp.26～39	笹山原遺跡No.16第3石器集中の資料を用いて、動作連鎖概念のによって、石器製作技術の実態を復元した。
	「笹山原遺跡No.16第12次発掘調査」	『第26回東北日本の旧石器文化を語る会 予稿集』 pp.79～88	笹山原遺跡No.16の2012年5月の発掘調査で明らかになった、旧石器時代の第4石器集中について報告したものである。
	「平成23年度文化学科考古学発掘実習報告－笹山原No.16遺跡第12次発掘調査－」	『文化学科（資格課程）報告集』 第15集（2013.3）	文化学科が実施した笹山原遺跡No.16の2012年5月の実習発掘調査の報告である。縄文時代の集石土坑4基、旧石器時代の第4石器集中の北辺を確認した。
阿 部 俊 夫	明治3年6月民部省布達と白河県の国絵図	郡山女子大学紀要第49集 2013.4	国絵図調進を命じた民部省布達とそれに応じた白河県の国絵図調進の実情を検証した。
山 口 猛	Webサイト構築における作業の収束過程	情報処理学会 第75回全国大会講演論文集	これまで、システム開発におけるプロジェクト管理の活発な議論・改善提案がなされてきた。しかし、デザイン・ユーザビリティの保証や、独自の開発風土が及ぼす影響があると思われる「WEBサイト構築」を対象としたものは少なく、依然として構築作業の指標が曖昧である。そこで今回は、本学のWEBサイト構築作業において、Eメールを用いた作業管理を行った送受信履歴から、作業収束の振る舞いについて考察した。
水 野 時 子	タラの芽の一般成分、無機質成分、遊離アミノ酸組成（共著）	日本食生活学会誌Vol.23 No.2（2012.9）	民間薬として用いられているタラの木の新芽（タラの芽）の栄養成分、機能性アミノ酸含量、また樹皮、根、葉の機能性アミノ酸含量について検討した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	タラの芽の栄養成分と遊離アミノ酸組成（共同研究）	日本家政学会第64回大会研究発表（大阪市立大学；2012.5）	タラの芽の一般成分、遊離アミノ酸組成、および茹で操作による遊離アミノ酸の変動、 γ -アミノ酪酸生成能について検討し報告した。
金 子 依里香	女子大学生における体型の経年変化（共著） 郡山女子大学 家政学部食物栄養学科 紺野信弘 郡山女子大学短期大学部 家政科食物栄養専攻 金子依里香	郡山女子大学研究紀要 第49集 投稿中	女子大学生の体型の基礎指標と肥満の指標等を5年間にわたり測定し、経年変化を分析した。本学の大学生および短期大学生の身長、体重および座高を全国平均値と比較した結果、本学の大学生で体重と座高が有意（ $p<0.05$ ）に高いことが分かった。また、BMIと体脂肪率区分による肥満判定では、本学の対象学生のうち、6.8%の学生が隠れ肥満であることが分かった。
鈴 木 祥 子	(1)「保育実習1（施設）に関する統一評価票の作成プロセスに関する研究－福島県を事例として－」 (2)「保育実習1（保育所）に関する統一評価票の作成プロセスに関する研究－福島県を事例として－」	平成24年度全国保育士協議会 東北ブロックセミナー 福島県大会（共同） (2012.10.20)	福島県の保育者養成校連絡部会において、(1)施設実習、(2)保育所実習の評価票統一の作成に着手した。(1)では、保育実習1（施設）に関する統一評価票の作成プロセスに着目し、(2)では、（保育所）の統一評価に向けて協議・検討し、養成校間の合意形成の過程で産出した課題を明らかにした。
鍋 山 友 子	Queen's Dancing Showcase 2012に出演 (Queen's Dancing Studio 主宰 甲野藤一恵)	2012年11月18日 会場；学校法人郡山開成学園 建学記念講堂	出演曲目 1. You want this 2. Like i never left 3. Tell me 4. Muzik 5. Final
	イノウエトシマロ・ダンスワールド 13 th サマーパーティに出演 (主宰 井上俊磨・佳奈)	2012年7月7日 会場；ベルヴィ郡山館	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目；Tango 鍋山友子／井上俊磨先生（JBDF2009年全東北プロスタンダードチャンピオン）

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	2012セキネダンススクール 舞踏晩餐会に出演 (主宰 関根直行・関根友美)	2012年7月29日 会場；ホテルサンルート白 河	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目；Waltz 鍋山友子／井上俊磨先生（JBDF2009年全東北ブ ロスタンダードチャンピオン）
	STAR LIGHT DANCERS 発足記念舞踏晩餐会 に出演 (主宰 スターライトダンサーズ)	2012年9月8日 会場；東京グランドプリン スホテル高輪	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目；Waltz 鍋山友子／井上俊磨先生（JBDF2009年全東北ブ ロスタンダードチャンピオン）
	2012イワキダンススクール 舞踏晩餐会に出演	2012年9月30日 会場；いわきワシントンホ テル	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目；Waltz 鍋山友子／井上俊磨先生（JBDF2009年全東北ブ ロスタンダードチャンピオン）
	イノウエトシマロ・ダンスワールド Christmas Nightに出演 (主宰 井上俊磨・佳奈)	2012年12月15日 会場；迎賓館グランプラス	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目；Waltz 鍋山友子／井上俊磨先生（JBDF2009年全東北ブ ロスタンダードチャンピオン）
	森ダンススクール18周年記念パーティーに出演 (主宰 森 利夫・高木恵子)	2013年3月17日 会場；いわきワシントンホ テル	アマチュアデモンストレーションダンス 出演種目；Waltz 鍋山友子／井上俊磨先生（JBDF2009年全東北ブ ロスタンダードチャンピオン）
	口頭発表（共同） 「放射性物質による食品や生活環境汚染に対す る意識調査」	日本家政学会第64回大会 2013年5月13日	放射性物質の生活者に対するリスクマネジメント の課題を、学生対象に実施した放射能汚染に関す る意識調査から抽出した。
中 井 大 介	保育の心理学	大学図書出版，2012年 (共著)	本書は，小学校から高校にわたる教育相談の入門 書として作成された。
	よき保育者になるために	大学図書出版，2013年 (共著)	本書は，保育者を目指す学生としての心構えやマ ナーの入門書として作成された。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	保育者養成校に通う短大生の養護性とその関連要因	日本教育心理学会第54回大会発表論文集、2012年	本研究では保育者養成において着目すべき資質として「養護性」に着目して検討した。
山 上 裕 子	経験主義的立場における超越の位置 －マスローを手がかりにして－	『日本デューイ学会紀要』第53号 2012年	デューイ思想の超越可能性の問題に、新視角から考察。マスローを手がかりに超越を語れる位置を明確にした。
	自己実現の思想－マスローを中心に－	教育哲学会第55回大会 2012年	自己実現という言葉を考案し広めたマスローの概念を再考察。デューイ教育論の読み替えの可能性を模索。
京 免 徹 雄	(著書) 石堂常世編著『道徳教育の系譜と展開』、(分担執筆：京免徹雄「第4章－2 総合的な学習の時間と道徳教育」「第4章－3 特別活動と道徳教育」)(共著)	2013年刊行予定 学術図書出版社	「4－2」では、特にキャリア教育を通じた道徳性の育成について論じた。また「4－3」では、「ジャスト・コミュニティ・アプローチ」からみた特別活動の可能性を明らかにした。
	(論文) 「女性保育者の初期キャリア形成に関する一考察－短期大学生の職業観の変化に着目して－」(単著)	2012年3月 早稲田大学教育学会『早稲田大学教育学会紀要』第13号、245-252頁	本論では、保育者としてのキャリア形成の端緒である養成段階に着目し、女学生の進路選択の基盤となる職業観の変化が及ぼす影響を探究した。
	「フランスにおける『職業と教育制度の発見行程』を通じた移行支援－生涯進路指導と資格水準の向上への取り組み－」(単著)	2012年12月 日仏教育学会『日仏教育学会年報』第18号、39-49頁	本論では、2008年に導入された移行支援プログラム「職業と教育制度の発見行程」の目的と構造について考察し、進路指導の展開過程に位置付けることで、進路保障に対する基本的な考え方を明らかにした。
	「短期大学における特別活動法を応用した学生生活支援－アセスメントに基づくクラス集会の実践－」(単著)	2013年3月発行予定 日本特別活動学会『日本特別活動学会紀要』第21号、印刷中	本論では、筆者が行ったクラス集会を分析し、学生生活支援への特別活動法の応用可能性を検討した。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「フランスの進路指導における質保証の論理と実践－進路指導心理相談員の公役務をめぐる諸論議に着目して－」(単著)	2013年3月発行予定 早稲田大学教育総合研究所 『早稲田教育評論』第27巻、 印刷中	本論では、政府文書の分析と関係者へのインタビュー調査によってCOPの公役務をめぐる議論を整理することで、進路指導の質保証の論理と実践を明らかにし、その有効性と限界について吟味した。
	「フランスの学校教育における進路指導の成立と展開－進路形成に関する機能の変容とその帰結－」(単著)	2013年3月発行予定 博士学位申請論文、早稲田 大学教育学研究科	本論文では、フランスにおける進路指導の展開について、その成立から現代に至るまで通史的に、教育制度と教育実践の両面から検討し、子どもの進路形成に関する機能の変容、およびそれがもたらした影響を明らかにした。
	「フランスの学校教育における進学指導の成立過程－職業指導との関係性に着目して－」 (単著)	2013年3月発行予定 『郡山女子大学紀要』第49 集、印刷中	本論では、フランスにおける進学指導の成立過程について職業指導との関係性に着目して考察し、進路指導史におけるその意味を明らかにした。
	「世界の『国語』教育事情 第2回 フランス」(単著)	2012年9月 大修館書店『WEB国語教室』	本論では、フランスの高等学校における国語教育の現状と課題について明らかにしている。
	(学会発表) 「学生生活支援への特別活動法の応用－アセスメントに基づく「学級活動」の実践－」(単)	2012年8月 日本特別活動学会、第21回 大会、愛媛大学	本発表では、筆者が行ったクラス集会を分析することを通じて、学生生活支援への特別活動法の応用可能性について検討した。
	「保育実習Ⅰ（施設）に関する統一評価票の作成プロセスに関する研究－福島県を事例として－」(単)	2012年10月 平成24年度全国保育士養成 協議会東北ブロックセミナー 福島大会、會津稽古堂	本発表では保育実習Ⅰ（施設）に関する統一評価票の作成プロセスを分析することで、施設、養成校、実習生の三者にとって妥当な実習の評価方法への示唆を得た。
	「フランスにおける生涯進路指導のネットワーク化と質保証－『万人のための進路指導』の実現に向けた動き－」(単)	2012年10月 日本キャリア教育学会第34 回大会、滋賀大学	本発表では、フランスにおける「生涯進路指導」に向けた公役務の変化に着目し、その論理について諸法令の分析を通じて明らかにした。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「フランス中等教育における進路指導と教科指導の融合－普通教育カリキュラムの中の『職業』の再検討－」(単)	2012年11月 日仏教育学会2012年度創立 30周年記念研究大会、早稲 田大学	本発表では、コレッジにおける進路指導と教科指導の融合プロセスを検証し、普通教育カリキュラムの中の「職業」の位置付けを明らかにした。
宗 方 隆 子	「集い」	現代童画会'12春季展 2012年 4 月 (東京銀座ア ートホール)	路の臺上で遊び集う小人達で楽しい春のイメージを表現。 油彩・F8号
	「山頂でイエイ！」	第58回福島県水彩展 2012年 6 ～ 7 月 (郡山市民文化センター)	夏山を背景に幼い少女二人と若い母親を描いた楽しい思い出の心象表現。 水彩・F40号
	「惜春」 「青嵐」 「慈雨」 「豊穰」	宗方隆子作品展 2013年 1 月 (アトリエ：かしわ)	雲中供養菩薩と自然をモチーフとした心象表現。 故関口富左先生のご冥福を祈っての発表。 同上テーマの作品計 4 点。 水彩・F80号
	「和のイメージⅠ」 「和のイメージⅡ」	同上 同上	白鳩、少女、自然をモチーフとして愛と平和、自然と人間の調和を願う心象表現。 同上テーマの作品計 6 点。 油彩・アクリル F50号 (2点)
	「和のイメージⅢ」	同上	水彩・F60号 同上テーマの作品
	「白い鳩の棲む樹の下でⅠ」	同上	油彩・P80号 同上テーマの作品
	「白い鳩の棲む樹の下でⅡ」	同上	油彩・P80号 同上テーマの作品
	「白い鳩の棲む樹の下でⅢ」	同上	水彩・F40号 同上テーマの作品

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「なかよしⅠ」 「なかよしⅡ」 「なかよしⅢ」 「雪の夜のメヌエット」	同上 同上 同上 同上	四季の自然と子供、動物をモチーフとして自然と人間の調和共生そして全ての子供たちの健やかな成長と幸せを願う心象表現。 同上テーマの作品計7点 油彩・F8号（1点）、F10号（3点）
	「やがて乙女に」	同上	水彩・F50号 同上テーマの作品
	「朝の海」	同上	アクリル・F40号 同上テーマの作品
	「赤とんぼ日和」	同上	アクリル・F40号 同上テーマの作品
小 松 太 志	「Di-Vision Ⅵ」	第27回モダンアート福島支部展（福島市民ギャラリー／2012年8月）	コンピュータ特性を応用した曲線分割と質感表現による造形美を探究した。
	「Di-Vision Ⅶ」	第23回基礎造形学会 博多大会 作品展（九州産業大学／2012年9月）	同上
	「Di-Vision SQ」	福島青年美術の展望 展（あだたら高原美術館 青／11月）	同上
松 田 理 香	「透明な楽譜（スコア）」S8号	2012年現代童画会春季展（2012・4） 銀座アートホール	エアブラシを中心としたイラストレーション作品（以下 同上）
	「空の美学（デザイン）」S20号	2012年現代童画会選抜展（2012・7） 銀座アートホール	

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「天空の楽譜（スコア）」F80号	2012年利根山光人記念大賞 展トリエンナーレ・きたか み（2012・8）北上市民交 流プラザ	
	「天虹を招く鳥」F80号	2012年 第38回 現代童画展 （2012・11）東京都美術館	
黒 沼 令	「感傷」	第86回国展彫刻部 国立新美術館 2012年 5 月	・ 作品サイズ 110×90×180cm ・ 素材 朴
		北の風展 盛岡ふれあい覆馬場プラザ 2012年 9 月	第86回国展彫刻部準会員優作賞受賞 国画会彫刻部会員推挙
		アートフェスタいわて 岩手県立美術館 2013年 3 月	
	「侵蝕」	第65回岩手県芸術祭美術展 岩手県民会館 2012年10月	・ 作品サイズ 60×25×30cm ・ 素材 朴、櫟
		アートフェスタいわて 岩手県立美術館 2013年 3 月	

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「覗き込む人」	福島青年美術の展望展 あだたら高原美術館ao 2012年11月	・作品サイズ 90×20×30cm ・素材 朴、栓
		アートフェスタいわて 岩手県立美術館 2013年3月	平成23年度岩手県美術選奨受賞
	「待つ」	第86回 国展彫刻部受賞作 家展 東京都立美術館 2012年10月	・作品サイズ 80×30×40cm ・素材 檜、朴
		第66回福島県総合美術展 福島県立文化センター 2012年12月	
		共鳴展 橋本章没10周年記念展 福島県立文化センター 2013年3月	
飯 田 識 実	コンサートin二本松	2012.5.13	二本松コンサートホール（遠藤優子）
	音楽鑑賞教室	2012.5.17	サンフレッシュ白河（白河市中央公民館）
	江戸川区新人演奏会	2012.7.8	タワーホール船堀（江戸川区音楽協議会）
	2012“音楽都市こおりやま” 市民音楽祭参加コンサートin郡山	2013.10.8	ミューカルがくと館（遠藤優子）

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	楽しく国語塾 第8回 詩の鑑賞「北原白秋の詩を楽しむ」	2012.10.18	サンフレッシュ白河（白河中央公民館）
	福島県立田村高等学校芸術鑑賞会	2011.11. 8	福島県立田村高等学校体育館
	ピアノリサイタル	2012.11.15	ヤマハ郡山店コンサートサロン（自主開催）
	クリスマス・コンサート	2012.12.13	白河信用金庫イベントホール（白河中央公民館）
	Christmasの夜会	2012.12.22	蔵酒と旬膳 蔵
磯 部 哲 夫	IL FARO DEI CANTANTI （声楽家たちの指標）	練馬文化センター小ホール （2012年 5月31日 東京 都）	東京藝術大学声楽科教授川上洋司氏の門下生による第1回演奏会。芸術性の高い声楽演奏会の立案、企画。
南 川 肇	東京クラリネットフィルハーモニー第30回定期 演奏会	4月2日 東京文化会館小ホール	薔薇の騎士 R.シュトラウス ほか
	TCP蔵王ファゴト&クラリネットサマーキャン プ	8月13～16日 蔵王アストリアホテル	リュートのための古代舞曲とアリア ほか
	コンサート郡山	10月8日 ミューカルがくと館	6つの歌 シュボア ほか
阿 部 優 子	女子学生における正月料理の摂取状況と意識調 査	日本調理科学会平成24年度 大会 （ポスターセッション 秋 田大学） 平成24年8月	「調理文化の地域性と調理科学」における調理項目を「行事食」とし、中でも特に認知・喫食経験が高率であった正月料理をテーマに、本学学生及び保護者を対象にして3日間の食事記録を調査した結果を分析し考察を加えて発表した。
鈴 木 奈津子	食品の廃棄率について	郡山女子大学研究紀要 第49集（投稿中）	調理に使用される頻度の高いじゃがいもと人参について、手剥き・機械剥きにおける廃棄率の検討を行った。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
仲 田 佐和子	「平成24年度 博物館実習報告」	(『文化学科(資格課程) 報告集』第15集、平成25年3月)	博物館学外実習9施設の報告を考察し、次年度の博物館実習授業を展望した。
	「学芸員課程カリキュラム改編について」	(『文化学科(資格課程) 報告集』第15集、平成25年3月)	平成24年度から実施となった学芸員課程新カリキュラムの改編をまとめ、今後の授業に向けて考察した。
齋 藤 理 沙	女子学生における正月料理の摂取状況と意識調査	日本調理科学会平成24年度大会 (ポスターセッション 秋田大学) 平成24年8月	「調理文化の地域性と調理科学」における調理項目を「行事食」とし、中でも特に認知・喫食経験が高率であった正月料理をテーマに、本学学生及び保護者を対象にして3日間の食事記録を調査した結果を分析し考察を加えて発表した。
	型染帯「花の旋律」	第66回福島県総合美術展覧会(福島県部文化センター 2012年12月)	自然界にモチーフを求め、春をイメージして制作した六通帯。型絵染で表現した作品。(工芸美術部門 入選)
草 野 順 子	「閉塞の先」	第86回国展 東京六本木国立新美術館 2012年5月2日～14日	F130号 キャンバスに油彩 同時代を生きる視えない弱者を表現。
	「朽」	福島青年美術の展望展 あだたら高原美術館青-a0-前期 2012年11月2日～11日	F100号 キャンバスに油彩 同上テーマの作品
	「乾き」	第66回福島県総合美術展覧会 福島県文化センター 2012年12月7日～16日	F50号 キャンバスに油彩 同上テーマの作品

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲載誌・発行所・学会	概 要
渡 邊 典 子	第11回チャペルコンサート	2012.10.14	二本松コンサートホール

【社会活動】

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
関 口 修	日本私立短期大学協会	副会長 短期大学教育の振興に関する諸問題
	短期大学振興対策特別委員会	委員長 今後の短期大学の振興方策・進め方等審議
	日本私立短期大学協会東北支部	支部長 日本私立短期大学協会東北支部の振興に関する諸問題
	(助)短期大学基準協会 第三者評価委員会 第三者評価委員会小委員会	理事長 委員 第三者評価に関する検討・評価 委員 第三者評価に関する詳細案作成
	日本私立大学協会	評議員 事業計画・収支予算等に関する検討
	日本私立大学協会 教育学術充実研究委員会	委員 高等教育の充実に関する研究
	(助)私立大学退職金財団評議員会	評議員 事業計画・収支予算等に関する検討
	日本私立学校振興・共済事業団	非常勤理事 事業団の管理、運営に関する事項
	文部科学省 大学設置・学校法人審議会 学校法人分科会	委員 高等教育に関する法人の管理運営に関する事項
	全私学総連合会	委員 私立学校に関する諸政策の推進
	(助)私学研修福祉会	理事 事業計画・収支予算案に関する検討

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	(財)私学研修福祉会 私立大学の教育・研究充実に関する運営委員 (短期大学の部)	教育・研究の質の画期的充実を図る方途を探究する。理事長・学長等を対象とした研究会
	郡山市教育振興基本計画審議会	委員 教育分野における郡山市の将来目標とその実現に向けた基本指針を定める
	(社)日本フードスペシャリスト協会	理事 事業計画・収支予算等に関する検討
	(財)星総合病院	理事 事業計画・収支予算等に関する検討
	(医)安積保養園 あさかホスピタル	理事 事業計画・収支予算等に関する検討
	原発被害福島県私立大学・短期大学連合会	会長 福島第一原発事故による損害賠償に関する調査など
	文部科学省研究開発局原子力損害賠償紛争審査会	有識者として委嘱を受ける
	福島県私学団体総連合会	理事 関係諸団体の私学教育の充実・振興を図るための運営にあたり必要な事項を審理
影 山 彌	郡山市情報公開審査会	委員 郡山市情報公開制度の運用状況全般や、公文書一部開示決定に係る異議申し立てについて審議し答申をまとめる。
	郡山市個人情報保護審査会	委員 郡山市民の個人情報の保護に関して広く審議する。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	家政学原論部会東北・北海道地区委員	当地区大学における家政学原論研究を振興し、家政学の学問的確立を促進する。
武 井 玲 子	郡山市男女共同参画審議会（委員）	男女共同参画プランの企画推進に関する審議会に参画し、意見具申。
	郡山市建築審査会（委員）	市長の諮問機関として建築許可などに関する議案などについて、調査及び審議を行う。区分担当は、公衆衛生として任命されている。
	(社)日本家政学会色彩・意匠学部会（副部会長）	研究者間の共同研究推進、交流を通して、色彩・意匠学の学術研究成果を高め、家政学の発展に寄与する。
	平成24年度サマーリフレッシュプログラム （教員免許状更新講習）	「清潔で快適な衣生活 －漂白剤・洗剤の汚れ除去実験を通して考える－」をテーマに、実験をまじえてシミ・汚れやニオイの効果的な除去方法を説明した。
北 川 圭 子	福島県建築文化賞審査委員会	東日本大震災により2年間中止となった福島県建築文化賞に関して、来年度の実施に向けて委員として意見を述べた。
	福島県大規模小売店舗立地審議会委員会	福島県における大規模店舗の設計に関して、環境、交通、安全面等について問題がないか検証し意見を述べた。
	郡山市公共事業評価委員会	郡山市が実施する国庫補助に係る公共事業について、社会情勢等の変化に応じ、その必要性、効果等を検討し、事業の継続、見直し、休止又は中止について判断した。
	こおりやまユニバーサルデザイン推進協議会	郡山市におけるユニバーサルデザインを推進するために、委員として、人とのふれあいや、環境、建築学の面から意見を述べた。
	郡山市中心市街地活性化推進委員会	JR郡山駅周辺の市街地の活性化を目的として、「住む、働く、学ぶ、集まる」等の面から、委員として問題点や対策について意見を述べた。
	郡山市景観づくり審議会	郡山市における建築物や看板・植栽計画等の高さや色彩等について、委員として建築学や都市学の面から意見を述べた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	こおりやまユニバーサルデザインシンポジウムパネラー	郡山市市民協働課と建築士会郡山支部が共催するシンポジウムにおいて、「身近なユニバーサルデザイン」をテーマにパネラーとして参加し、意見を述べた。
	「にいどのこども園新築設計業務委託」 公募型簡易プロポーザル審査委員会	福島県二本松市と福島県建築設計協同組合が主催する新殿町の認定こども園のプロポーザルにおいて、審査委員として優秀賞や佳作を決定した。
	「掛田高齢者住宅新築工事基本設計業務委託」 簡易プロポーザル審査委員会	福島県伊達市と福島県建築設計協同組合が主催する霊山地域の高齢者住宅のプロポーザルにおいて、審査委員として優秀賞や佳作を決定した。
	郡山市史編さん委員会	「郡山市史続編4」及び「こおりやまの歴史改定版」の出版において、編さん委員として参加した。
	郡山市史専門委員会	「郡山市史続編4」及び「こおりやまの歴史改定版」の出版において、社会部会の専門委員として参加した。
小 阪 康 治	郡山市教育委員会シンポジスト	「子どもたちを放射能から守る取組みについて」
山 形 敏 明	公益財団法人郡山市観光交流振興公社 評議会	平成24年度公益財団法人郡山市観光交流振興公社評議会において評議委員を務める。2012年4月～2013年3月
	平成24年度郡山女子大学 サマーリフレッシュ講師	平成24年度郡山女子大学サマーリフレッシュ（教員免許更新講習）選択領域の講師を務める。2012年8月
山 本 裕 詞	NPO法人 発達支援機関 リソースセンター ONE	役員（監事） 軽度発達障害児の自立支援を目的に、発達相談や治療教育及び講演会活動等を行う当該法人において、理事の業務執行状況を監査した。
藤 本 健四郎	（独）科学技術振興機構 （平成24年度シーズ発掘試験査読評価委員）	委員（平成24年4月1日～26年3月31日） イノベーション創出を目的とした「シーズ発掘試験」の研究課題の選定ならびに事後評価を行った。
	研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）専門 委員	研究課題の選考に関わる事前評価および研究終了後の事後評価

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	日本油化学会関東支部	幹事 支部主催の行事の検討
	日本食品科学工学会	東北支部評議員 支部の運営
	日本食生活学会	理事 学会の運営
	日本ヘモレオロジー学会	理事 学会の運営
	麓山高原豚生産振興協議会「冬季全体研修会」	「豚肉のおいしさと健康機能性」と題して講演 (平成24年11月30日、三春町)
	福島県栄養士会 「食生活と植物油栄養に関する講習会」	「油脂の栄養を考える－植物油を中心として－」と題して講演（平成25年1月26日、郡山市）
広 井 勝	郡山地域テクノポリス推進機構技術審査	委員として郡山地域に存在する企業等で新規研究開発事業を計画する場合、助成に該当するかの審査を行う。
	福島県ハイテクプラザ業務運営委員会	委員としてハイテクプラザの業務内容が適正に行われたか検討を行う。
	「食生活研究」編集委員会	編集委員として雑誌の編集に関与。
	緑化センター（逢瀬公園）きのこ教室	講師として、6、9月の2回開催のきのこ教室で食毒きのこの見分け方、きのこ放射能、きのこの生態などについて解説。
	市民フォーラムの開催「環境中の放射線とその影響」	郡山女子大学主催のフォーラムの世話人ならびに講演者をつとめる。
諸 岡 信 久	日本建築学会微生物改訂小委員会委員	浮遊微生物サンプリング法と微生物による室内空気汚染に関する設計・維持管理規準作成
	文部科学省大学間連携共同教育推進事業 大学が発信する「入学前教育」プロジェクト 放射線除染方法の開発担当委員	福島県の少子化・人材流出が深刻であり、県全体の競争力が低下していることから、県内の高等教育機関が単独の力だけでは切り抜けることができない課題に対して大学間の連携により取り組む。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市小学校教育研究会 講師	「放射線物質への対応について・放射線物質検査の実際」と題して、郡山市内の小学校教諭・養護教諭・栄養士を対象に、幼稚園や学校現場における放射線物質等の対応についての講話を行った。
	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2012 出展	郡山女子大学の環境委員会活動とし、ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェアへ、学園の再生可能エネルギーの設置状況や省エネルギーへの取り組みおよび食品放射能関連研究の発表を行った。
	日本農芸化学会東北支部主催市民フォーラム 講演	いわき明星大学に於いて「生命・食糧・環境と放射能」をテーマに市民フォーラムが開催され、食品と放射線という演題で講演を行った。
	郡山女子大学主催市民フォーラム 講演	郡山女子大学に於いて開催された市民フォーラム「環境中の放射線とその影響」に放射線に対する郡山女子大学の取り組みと題し、講演を行った。
紺 野 信 弘	郡山市あさかの学園大学	講師「生涯学習講座」
	日本衛生学会	評議員 学術総会等に出席し、衛生学会の今日的問題の認識、把握および最新の情報と知見の入手。
庄 司 一 郎	全国農業協同組合連合会福島県本部特別栽培農産物 認証事業判定委員会	委員長 米、野菜、果物等の特裁農産物について承認、認証業務の合否について審査。
	福島県観光物産交流協会	評議員 事業計画、収支予算、理事選任に関する内容等について検討。
	郡山市米消費拡大推進協議会	委員 あさか舞の米消費拡大及び、業務内容に関する事項について検討。
	日本家政学会東北・北海道支部	幹事 事業計画、収支予算、研究発表等について協議

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	日本食品科学工学会東北支部	幹事 事業計画、収支予算、全国大会等について協議
	金山町地域資源開発委員会	炭酸水の食品学的効果、特に米飯、おかゆに炭酸水を用いた際の有効性について技術指導。
	農商工連携等による被災地等復興支援事業 (本宮烏骨鶏生産組合)	地域資源を活用した特産品の開発（烏骨鶏卵油と梅果実の機能性を活かした商品化について検討）
	須賀川市長沼公民館	講師 ①親子ふれあい教室 食の安全について、特に放射能から守るためについて講演。 ②成人教室 食生活講座、塩麴について講話と実技（塩麴を使ったお手軽スイーツ）を行った。 ③ながぬま文化まつり 発酵はすごい－塩麴温故知新－の調味料について講演。
	郡山市あさかの学園大学	講師（生涯学習講座）、野菜の健康機能について講義。
	磐梯熱海温泉旅館協同組合	ふくしま食の未来プロジェクトシンポジウムにおいて、パネリストとして郡山の農産物の安全性と食観光について意見交換を行った。
	農林水産省	日本食文化無形文化遺産化シンポジウム等において、基調講演を行うとともに、伝えよう地域の食文化事例発表（東北ブロック）において、コーディネーターを務めた。
藤 原 建 樹	共益財団法人てんかん治療研究振興財団	評議員並びに研究助成選考委員
	郡山市災害弔慰金支給審査委員会	委員長

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
深 谷 笑 子	福島県文化振興審議会	委員 福島県文化振興基本計画について 震災以降社会情勢が大きく変わったことから、文化の力による復興を目指す計画の見直しを2回行った。
	竹田看護専門学校	非常勤講師 「生活論」担当
	サマーリフレッシュ	講師 「家庭の本質」担当
茂 木 光 代	福島県立郡山養護学校評議員	委員 平成24年度は3回の評議委員会が開催された。学校評議員として、学校運営、教育活動計画・実施、地域社会との連携等に関して意見を述べた。
	福島県郡山市地域福祉計画策定委員会	委員（副委員長） 保健福祉分野の総合計画の策定を行った。保健福祉関連計画の個別・分野別計画を推進するうえでの共通する方針を明らかにし、推進方向と推進施策を定めた。平成24年8月より5回開催。
	福島県郡山市社会福祉協働会 地域福祉活動計画策定委員会	委員（副委員長） 郡山市地域福祉計画策定委員会で策定した地域福祉計画を受け、地域福祉活動など地域福祉に関する実践的な計画を策定した。平成24年10月より5回開催。
	放送大学福島学習センター	講師 集中型面接授業「認知症の理解と生活の質」を担当。
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
難 波 めぐみ	郡山桃見台地域公民館	平成24年度 青少年対象事業トライキッズスクール「パテシェに挑戦」事業企画及び運営サポート。
橋 爪 敏	郡山市史専門委員	平成24年11月27日～

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
菊 池 節 子	福島県教育委員会指定管理者選定検討会	委員として、教育委員会所管の公の施設を管理する指定管理者の指定を行うにあたり、応募団体の書面審査ならびに面接審査に携わっている。
	子どもの遊びと運動に関する検討会	郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催の検討会において、子どもの遊びと運動、食事の実態把握のための調査用紙作成ならびに対応策の検討に携わっている。
	ながぬま成人教室	講師 長沼公民館主催の成人教室「食生活講座－発酵（塩麴）について学ぶ」の講座で、塩麴を用いた調理の紹介を行った。
	全国親子クッキングコンテスト郡山地区大会	審査委員 東部ガス(株)主催の「わが家のおいしいごはん」をテーマにした親子クッキングコンテストの審査を行った。
	親子クッキング大会	審査委員 福島県LPガス協会郡山支部主催の「家族で温かな食事」をテーマにした親子クッキング大会の審査を行った。
石 田 智 宏	日本タッチアンドフラッグフットボール協会	副理事長
	平成24年度大学女子タッチフットボール連盟東日本大会	優勝
	第21回タッチフットボール大学女子東西王座決定戦	第3位入賞
	平成24年度KGCサマーリフレッシュプログラム講師	「食商品学：商品から見る社会」
	平成24年度郡山女子大学学園教育充実研究会講師	「コミュニケーションを中心とした国家試験対策について」
安 田 純 子	国際女性の地位協会	編集委員 『国際女性』（尚学社発行）に携わった。
	オーストラリア学会	理事 学会の運営とオーストラリア大使館ならびに豪日交流基金関連行事に携わった。また、編集責任者として「オーストラリア研究」第26号の編集に携わった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
関 口 晋	日本私立短期大学協会 運営問題委員会	私立短期大学の管理運営と教育制度等に関する研究
熊 田 伸 子	郡山市介護保険運営協議会	委員 郡山市介護保険の運営協議、郡山市介護保険事業計画協議
	郡山市地域密着型サービス等運営委員会	委員 郡山市地域密着型サービスの運営協議
	郡山市地方社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会	委員 高齢者福祉に関する事項について審議
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
深 作 嘉 代	一般社団法人 福島県介護福祉士会	・平成19年4月より会長 平成24年11月より顧問 活動内容 厚労省、委託事業等の実施 県社協、研修会等へ講師派遣 全国大会、ブロック研修会出席及び企画・開催 支部独自の研修会、企画・開催 ・(財)社会福祉振興・試験センター 平成17年度より、介護福祉士国家試験実地試験委員 ・福島県地域リハビリテーション協議会委員 県主催の会議に出席
笹 田 琴 美	福島県虐待問題研究会	理事 虐待に関する調査研究と相談事業
	サマーリフレッシュ（教員免許更新講習会）講座	講師「DVの現状－発見、介入、子どもへの影響－」
	福島県立医科大学ハラスメント対策委員会	委員 ハラスメントの調査確認およびその対応についての審議、ハラスメント防止に関する審議、規約改正の審議等。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	「女性のための電話相談員養成講座」	講師 郡山市男女共同参画センターと女性の自立を応援する会の共催企画。24年度より被災地に設置された「女性のための電話相談」の相談員を養成する連続講座を担当した。
	松戸市おーい図書館 「福島いま、日本のこれから」	講師 松戸市の図書館活動団体の学習会。震災後の福島のくらしと現状について。
垣 花 真一郎	講演「言葉の不思議－子どもの言語発達を考える」	2012年12月（主催：放送大学） 子どもが何故わずかな期間に膨大な量の言葉を覚えることが出来るのかを実例を挙げながら解説した。
	市民講座 「錯覚を体験しよう－脳が世界を作り出す」	これまで発見されてきた種々の錯覚現象を実際に体験しながら、人間の脳の仕組みについて理解を深める講座である。
渡 邊 英 勝	富士宮市地域福祉フロンティア計画（地域福祉活動計画）策定委員会アドバイザー	富士宮市社会福祉協議会の策定する「地域福祉活動計画」の策定委員会へのアドバイザーとして参加。基調講演、提言、アンケート調査の調査票への助言、計画冊子の内容への助言等を行う。
	富士宮市柚野稲子地区・芝川地区社協設立準備委員会アドバイザー	本学研究紀要49号に投稿した論文のアクションリサーチも兼ねるもの。合併後地区社協空白地域に入り込み、設立準備委員会に参加、動機づけ、助言、基調講演、エンパワメント、情報整理等を行う。
	富士宮市社会福祉協議会ふくしのまちづくりサポーター養成研修会講師	富士宮市には現在14か所の小地域社会福祉協議会が存在するが、その構成メンバーは既存福祉団体やボランティアグループ等の連合体である。地区社協独自のスタッフを養成するための講座の講師。
	富士宮市社会福祉協議会・地区社協版地域福祉活動計画策定研修会講師	富士宮市の14か所の小地域社会福祉協議会独自の小地域版地域福祉活動計画を策定し、小地域ごとの地域福祉を推進するための計画的な事業推進のための方策をワークショップ形式でまとめ上げ、それを基礎とする富士宮市社会福祉協議会地域福祉フロンティア計画をボトムアップ形式で策定するものである。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	平成24年度駿東郡社会福祉協議会職員研修会講師	駿東郡（長泉町・小山町・清水町）社会福祉協議会職員に対する社協職員としての地域福祉推進への取り組みを積極的に促す講義・講演
	富士市地域生活介護支援サポーターステップアップ講座講師	地域の高齢者の個別の生活ニーズに応える仕組みを安定的・継続的に構築するための住民参加サービス等の担い手を養成し、生活を支えるシステムを構築するための講座
泉 秀 生	日本幼少児健康教育学会	会員
	日本食育学会議	食育研修委員会 委員長 紀要編集委員
	日本乳幼児教育学会	会員
	日本子ども家庭福祉学会	会員
	日本幼児体育学会	会員
	日本保育園保健協議会	会員
	日本レジャー・レクリエーション学会	会員
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営の協力
岡 部 聡 子	緊急こどもサポート講習会	子どもの栄養について 講師
佐 藤 典 子	石川県教育センター主催今日の課題研修教員研修	講師 テーマ「効果的な科学実験を取り入れた小学校家庭科の授業づくり」
	第24回愛知サマーセミナー	特別講演講師 テーマ「N.SATOの生活科学実験～乳化剤～」
	福島県高等学校教育研究会家庭部会夏季大会	講師 テーマ「生徒の興味関心を引き出す体験型授業の工夫」 ～身近な器材を使ってらくらく実験～

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	神戸コンシューマースクール	講師 テーマ「科学実験を活用した消費者教育の展開」
	神戸市生活実験講座講師研修	講師 テーマ「生活実験講座講師研修会～魅力的な講座作り～」
	東京都・市町村共催講座	講師 テーマ「くらしの中の食品添加物」
影 山 志 保	独立行政法人国立環境研究所環境リスク研究センター客員研究員	国内大気の汚染状況について遺伝毒性の視点からのリスク評価を担当している。
先 崎 和 子	小野町母子保健推進員	委員 母性及び乳児の指導を推進し母子の健康増進を図る。
	更生保護女性会	会員 地域社会の犯罪・非行の未熟防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力する。
	ふるさと暮らし支援センター	会員 交流人口及び定住人口の拡大を図るため、移住希望者へPR活動や移住者への支援のほか、田舎料理づくり等へ移住体験・交流を行う。
	県中地方・地域産業6次化ネットワーク	会員 県内の優れた農林水産資源を基盤として、お互いに連携し商品に新たな付加価値を加え、地域経済の活性化を目指す。
	福島県レクリエーション協会	講師 ニューエルダー元気塾の参加者を対象に元気を創る食のあり方について講演した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県栄養士会	監事 会の会計監査に携わる。栄養ケアステーション運営委員として体制強化に向けて役員会に出席した。
富 本 栄 次	福島県ハンドボール協会強化部強化委員	国民体育大会成年男子チームコーチ
	福島県ハンドボール協会	福島県中学生選抜選手練習会 講師
	日本ハンドボール協会強化部 競技者育成委員会インストラクター	東北地区NTS選考会 インストラクター
	日本アスリート会議（東京都）	震災地区の小学生を対象としたスポーツクリニック講師 （宮城県多賀城市）
	(財)日本体育協会	「スポーツ選手活用事業」として園児、小学生を対象とした体力、運動機能向上のためスポーツ教室講師 ① 東京都葛飾区亀青小学校 ② 神奈川県茅ヶ崎市浜須賀小学校 ③ 兵庫県神戸市はなみずき保育園
石 村 由美子	郡山市食育推進協議会副会長	平成20年に市民の「食」についての意識を高めるため、家庭・地域・学校・行政との連携を図りながら、郡山市の特性を活かした食育推進計画が策定された。これを受けて現状の取り組みと実施状況について、各専門分野から選任された委員を招集して、継続して協議を行い、「第二次郡山市食育推進計画」として冊子を作成した。
	郡山市水道事業経営審議会委員	郡山市水道局の命を受けて、郡山市水道事業に関わる様々な事項（水道事業経営の基盤、事業計画、財政計画等）について審議し、より良い水道事業経営の実施に向けて意見を述べ、郡山市に答申した。
	郡山市総合地方卸売市場運営協議会委員	郡山市総合卸売市場の運営に関する諸事項である、条例の改正や開場期日ならびにその内容等について、協議を行い、適切な運営のための意見を述べている。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市総合計画審議会副会長	郡山市の「復興基本方針」に基づき、都市機能や交通体系の充実に加え、未来を担う子供たちが健やかに成長することができる環境の整備等、将来を見据えた施策の創出のため、「郡山市第五次総合計画後期基本計画」を策定して答申した。
田 辺 真 弓	福島県文化財保護審議会	審議委員・福島県から諮問された福島県指定重要有形・無形文化財候補について、調査報告に基づいて審議を行った。
	公益信託棚木宇巳子記念奨学育英基金運営委員会	運営委員長・公益信託奨学育英基金の運営について、郡山市教育委員会の案に基づいて協議し、受給対象者を選定した。
	郡山警察署協議会	委員・協議会に出席し、警察署業務概況の説明を受け、業務改善や事故防止等について意見・要望を述べた。
	家政学会服飾史・服飾美学部会	委員・部会の運営について協議するとともに、部会報発行準備に携わった。
須 田 良 子	全保養協東北ブロック会議	役員（監事） 全国保育士養成協議会東北ブロック会議において、保育士の資質向上に向けたセミナー開催などの事業計画や実施状況等を監査した。
	平成24年度全保養協東北ブロックセミナー	実行委員長 本セミナーは同ブロック会員校の教職員の研修を目的に毎年開催している。「保育士養成校と保育現場の協働」を大会テーマに10月会津若松市を会場に東北各県より100名余の参加者があった。
	NPO法人ホットスペースR	役員 障害を持った子ども達が社会へ巣立った後、困ったことや悩みがあった時に気軽に戻れる場所（実家）として自立援助ホーム「木もれび」の設立にあたった。
三 瓶 令 子	全国大学音楽教育学会	理事 学会運営と諸議題についての検討

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	全国大学音楽教育学会・ 東北地区学会	会長 東北支部の運営と、全国学会からの諸問題についての検討
	郡山市私立幼稚園協会 幼児教育センター	専門研究委員 同センターの活動において、幼児教育実践研究を支援する。
	郡山市私立幼稚園協会教員研修会	研修会講師2012, 5 / 9, 6 / 27, 9 / 5, 10 / 10 会場：附属幼稚園ホール等 4回連続の分科会研修で、現職幼稚園教諭の「音楽表現分科会」を担当した。
	社団法人全国保育士養成 協議会保育士実技試験	保育士試験実技試験採点委員 2012, 10, 14実施 国家試験資格としての保育士試験において、実技試験の試験官として採点を行った。
富士盛 公 年	川越市立南古谷小学校教員研修会講師	平成24年8月27日に行われた小学校教員研修会講師として教育相談の新しい知識、理論について講演した。
	さいたま市北浦和公民館家庭教育学級講座講師	平成25年2月1日に行われたさいたま市の家庭教育学級の講座で「子どもたちへの対応に困ったとき」というテーマで講演した。
上 野 智 子	民俗芸能学会「福島県域の無形民俗文化財被災調査」(文化庁助成) 調査団員	助成期間：平成23年度～25年度 平成24年度から福島県教育委員会と合同の調査団となる。会議及び調査多数。 浜通りを中心に民俗芸能の被災状況を調査。
	民族芸術学会理事 (東京事務所所属)	平成24年度計4回の理事会に出席 年3回の研究定例会に関する審議及び平成25年度東京事務所担当大会に関する審議。
	比較舞踊学会理事	平成24年度計2回の理事会に出席 学会内小委員会に関する活動報告と審議。学会誌『比較舞踊研究』の編集委員兼務。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	比較舞踊学会第23回大会実行委員	平成24年12月8日(日)開催 大会テーマ：舞踊は語る、身体は語る 会場：早稲田大学所沢キャンパス
	地域伝統芸能大会福島大会「ふるさとの祭り2012」	平成24年10月27・28日開催 郡山駅前会場における伝統芸能の解説および地域芸能保存団体との会議 に出席。(詳細は同日付福島民友、福島民報社新聞記事参照)
村 田 清	福島県運営適正化委員会	福島県の福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保し、福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決するために、福島県社会福祉協議会に設けられた委員会の委員長として、会の運営に携わった。
	郡山市地域包括支援センター運営協議会	高齢者の心身の健康の維持や、生活の安定のために必要な相談や支援を包括的継続的に行う中核機関である、郡山市内の17か所の地域包括支援センターについて、適切、公正かつ中立的な運営を確保するための協議会の会長としての職務に従事した。
	郡山市医療介護病院評価委員会	委員の一人として、左記病院の事業評価を実施し、平成23年度の事業運営に関する評価をまとめ、郡山市長に答申した。
	社会福祉法人白河学園	理事として、理事会・評議員会等に出席し、児童養護施設白河学園の運営に関わるとともに、職員研修を担当した。
	日本ジェントルティーチング研究会	福島県支部長として、大阪で開催された全国のワークショップで震災後の福島の状況等について発表するとともに、仙台で開催されたオランダやカナダの講師による福祉関係者の研修会において、司会進行をつとめた。
	福島県社会福祉士会子ども家庭支援委員会	福島県の児童福祉にかかわるソーシャルワーカーの研修や情報交換を委員として行った。
	西郷村水道審議会	西郷村の水道事業に関する審議会の会長として、住民の大切なライフラインである水道事業における諸問題について審議を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	財団法人 立教志塾	白河市における生涯教育の民間組織である団体の評議員として、町づくり、人づくりを目的とした事業に参加した。
	福島虐待問題研究会	児童、高齢者、障害者などの虐待問題に関する民間団体の監事としてその事業の監査を行った。
久 家 三 夫	新しい文化の風交流事業「青少年と芸術文化団体との交流事業」 第2回・第3回 美術ワークショップ	主催：福島県 全国高等学校総合文化祭の成果を継承し、県内在住の高校生と福島県芸術文化団体連合会会員との情報交換及び交流をとおして、本県文化活動の担い手を育成する目的で開催された。県内高校の美術部員等が対象。 H24.8.7～8.8 郡山市文化センターで実技指導「デッサンの基本」を行った。参加生徒数2日間のべ50名。
	第66回福島県総合美術展 洋画部門 審査員	主催：福島県 応募作品洋画部門の審査業務 H24.12.2
	第66回福島県総合美術展 出品者研修会 講師	主催：福島県美術家連盟・福島県在京美術家協会・福島県 出品作品に対する講評業務 H24.12.16
浅 野 章	福島民報特別通信員 国画会絵画部チャリティー事業 うつくしま日中現代美術交流展 実行委員会	美術関係の情報・話題を中心として福島民報新聞社に記事を提供する。 東京六本木国立新美術館に於いて、第86回・国展絵画部でのチャリティー展に出品協力。小品を展示販売し売上金全額を東日本大震災義援金として寄付した。 日本国外務省・中国大使館・福島県などの後援のもと、日中国交正常化40周年記念事業として福島空港において美術交流展を開催した。日中双方、総勢31名のアーティストによる文化交流となり、その企画・運営（主にアートサポート）に携わった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	アートトーク	郡山ザベリオ学園講堂において全児童・生徒参加のもと、自作の解説や現代美術に関してアートトークをおこなった。
	郡山市総合美術展審査員	郡山市民文化祭主催行事・第57回郡山市総合美術展において洋画部出品作品の審査をおこなった。
	絵画寄贈 福島空港 郡山ザベリオ学園 会津ザベリオ学園	社会貢献の一環として大型絵画作品を公共施設に寄贈した。 「輪廻転生」 「動物のいる風景」他5点 「母体原形」他1点
岡 部 富士夫	日本作曲家協議会	会員 作品発表
	日本音楽著作権協会	会員
	JFC東北	会員 作品発表
	声楽アンサンブル全国大会	実行委員
	NHK文化センター	講師
	あさかの学園大学	講師
	アマデウス室内管弦楽団	常任指揮者
	郡山市民オーケストラ	ミュージックアドバイザー
	郡山吹奏楽団	客演指揮者
	合唱団「風」	常任指揮者
	郡山女声合唱団	常任指揮者
	郡山オペラを広める会	副会長
	福島オペラ協会	理事

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
野 沢 謙 治	福島県立博物館収集展示委員会	博物館が収集する資料、展示についての審議
	郡山市文化財保護審議会	文化財の指定についての審議
	郡山市社会教育委員会	社会教育への提言
	郡山市文学資料等収集評価選定委員会	文学資料館が収集する資料の審議
	郡山市行財政改革推進委員会	行政改革に対する提言
	郡山市市史編纂委員会	市史編纂の大綱の審議
	郡山市市史編纂専門委員会	市史の内容、執筆についての審議
	郡山市あさかの学園	生涯学習の講師
	須賀川市文化財保護審議会	文化財の指定についての審議
	NHK文化センター	講師
	日本風俗史学会	理事
齋 藤 美保子	福島県文化振興事業団評議委員会	評議委員として、まほろんの開館10周年記念式典に出席すると共に、事業団の24年度の運営全般について評議した。
	諸橋近代美術館アート・カフェ	9月16日 テーマ展示に関連し、「アングルとダリ」という演題で、香りを描いたふたりの画家について講演した。
	郡山市美術品選定委員会	平成24年度美術品収集評価選定委員会において、寄贈された美術品15件を審議した。
太 宰 待 子	国画会工芸部チャリティー事業 (2012.5.2-5.19)	国立新美術館（東京六本木）に於いて第85回国展工芸部チャリティー展に出品協力。小品を展示販売し、諸経費を除く売上金全額を自然保護協会及びNHK厚生文化事業団に寄付した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	蓮染と草木染ワークショップ (2012.9.29)	福島県三春町法蔵寺境内に於いて、境内植栽の蓮を採取して蓮染と近隣の植物採集の中から草木染のワークショップを実習実践した。また、エコ活動の一環として新聞紙でエコバックの制作も取り入れ、三春町近隣の方々、総勢30名が参加しました。
奥 秋 和 夫	ポラリス保健看護学院	非常勤講師「コミュニケーション論」
	放送大学 福島学習センター	非常勤講師「日本語表現とコミュニケーション」
	郡山市国民健康保険運営協議会	副会長 年4回の会合と研修会に出席し、国保の運営に関する重要事項を審議
	福島県精神科病院協会	事務長研修会の講師 「患者に対する接遇と言葉づかい」
	郡山市朗読ボランティア ハイジの会	視覚障がい者のための朗読ボランティア養成と録音図書作成指導
知 野 愛	郡山市環境審議会	委員として、郡山市の第二次環境基本計画年次報告書等に関して話し合い質問意見を述べた。
	TUF番組審議会	委員として、テレビユー福島での放送番組を合評する会議において、番組に対する意見感想や要望を述べた。
會 田 久仁子	郡山市中学校給食会運営委員	運営委員は市内中学校校長およびPTA会長、保健所長、学識経験者、郡山市PTA連合会、学校給食研究会である。魅力ある給食の提供と、いかにおいしく中学生に給食を食べてもらうかに工夫をこらすため、食材の選定や給食費の検討を行っている。運営委員会は年に2回行われる。
	郡山市下水道等事業運営審議会委員	本市下水道事業の適正かつ効果的な運営のための意見を求めたいとする諮問書を受け、「下水道使用料および農業集落排水施設使用料について」「下水道事業受益者負担金について」今後4回にわたり審議を重ね審議会としての意見を市に7月に答申する。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
鉦 野 信 子	福島県卸売市場審議会	委員 「第9次福島県卸売市場整備計画」の取り扱いについて審議を行うとともに、市場における放射性物質に対する安全対策について意見交換を行った。
	福島県農業総合センター農業短期大学校運営会議	委員 本大学校が、適切かつ円滑に運営されるよう、平成24年度の教育・研修実績および平成25年度の教育・研修計画についてについて協議した。
	県南調理師会 平成24年度調理師試験予備講習会	講師 調理師試験対策として、「調理理論」、「食文化概論」、「栄養学」の予備講習を行った。
	福島県農業総合センター農業短期大学校	非常勤講師として、「農畜産物加工」を担当した。
	社団法人 福島県エルピーガス協会郡山支部 親子クッキング大会	審査員 福島県エルピーガス協会主催により、エルピーガスを効果的に利用して親子で作る料理コンクールの審査を行った。
	アサヒビール園メニュー共同開発	アサヒビール園福島本宮店にて提供するメニューとして、女子学生が考案した福島県産品を使用した新メニューについて、アサヒビール園と共同開発を行った。
滝 田 良 子	日本伝統食品研究会	幹事として、会の運営に携わった。
	福島県総合計画審議会	委員 福島県における総合計画に関する事項について審議する。併せて復興支援計画について審議する。
	福島県社会福祉審議会	委員 福島県における社会福祉に関する事項について審議する。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県児童福祉専門部会	副委員長 福島県における児童福祉に関する事項について審議する。
	福島県保育協議会	理事 福島県における保育部門に関する事項について審議する。
	福島県保育者養成連絡研究部会	委員 福島県内保育者養成校保育担当者が、保育実習等が円滑に運営がなされるよう研究する。
	福島県教育庁県中教育	アドバイザー 子どもをはぐくむための地域実践プロジェクトについてアドバイス。
	福島県福祉施設士会	監事 会の運営等
	福島虐待問題研究会	事務局長 虐待に関する調査研究、会の運営等。
	郡山市総合計画審議会	委員 郡山市総合計画に関する事項について審議する。
	郡山市地方社会福祉審議委員会	副委員長 郡山市における福祉行政に関する事項について審議する。
	郡山市要保護児童対策地域協議会	専門委員 郡山市における要保護児童に関する事項について審議する。
	郡山市震災後子どものケアプロジェクトチーム代表者会議	代表者委員 郡山市における東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故後の、子ども及び保護者や支援者に対しての支援、また、子どもの明るく健やかな成長を目的に今後の対応を図る。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
深 谷 登喜子	須賀川音楽協会	会長 地域に音楽を広めるための様々な活動 演奏会・研修会等
	郡山女声合唱団	専属ピアニスト 創立50年近くになる合唱団 定期演奏会・コンクール・おかあさんコーラスフェスティバル等の活動
桑 野 聡	郡山市図書館協議会	議長・委員として郡山市内の図書館運営を協議し、市民の読書環境整備を支援している。
	福島放送番組審議会	審議委員として福島放送（KFB）自社制作番組を合評し、番組の質的向上を支援している。
會 田 容 弘	郡山市文化財保護審議会	委員 郡山市内の保存及び活用に関する重要事項について調査審議する。
阿 部 俊 夫	地方史研究協議会	福島県委員 会員活動の庶務担当
	伊達市保原歴史文化資料館運営委員会	運営委員 資料収集、展示方法など、資料館運営に関する指導と助言
山 口 猛	サマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）	8月3日(金)「家庭生活と情報」講師
水 野 時 子	福島県栄養改善学会運営委員	運営委員として学会開催の企画運営に携わっている。
	郡山市震災後子どものケアプロジェクトチーム実務者会議委員	実務者会議委員としてプロジェクトに携わっている。
鈴 木 祥 子	福島県保育者養成連絡会	研究部員：福島県内の保育者養成校の実習担当者と、円滑に実習運営がされるよう協議・検討に参加した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
中 井 大 介	日本学校心理学会	学会誌「学校心理学研究」の常任編集委員。学会誌「学校心理学研究」における論文査読などの編集作業。
	郡山市私立幼稚園協会	郡山市私立幼稚園協会幼児教育センター専門研究委員。郡山市私立幼稚園協会主催のセミナー講師や調査データの分析を担当。
山 上 裕 子	郡山市 心身障害児就学指導委員会	委員として、心身障害児に相応しい学びの場の選択審議に参加。
京 免 徹 雄	日仏教育学会	事務局幹事
	日本特別活動学会	理事、事務局幹事、紀要編集委員会幹事
	早稲田大学教育総合研究所	特別研究員／企画研究「コミュニティスクールを活かしたガイダンスの機能の研究－上越市コミュニティスクールにおけるキャリア教育、生徒指導の展開を通して－」
	福島県保育者養成校連絡会	研究部会委員
	平成24年度全国保育士養成協議会東北ブロックセミナー福島県大会実行委員会	大会実行委員
	全国保育士養成協議会東北ブロック研究委員会	研究委員
	(仮称) 矢祭町子どもセンター建設、開園準備委員会	委員（学識者）
小 松 太 志	矢祭町小学校統合等検討委員会	委員（学識者）
	日本基礎造形学会	学会誌編集委員。学会誌「基礎造形」20号記念誌の編集作業。
飯 田 識 実	矢吹町図書館主催	さわやか詩集表彰式&ポエムコンサートにて演奏を担当

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	白河市中心公民館主催教室	講師 「音楽鑑賞教室」 「第8回楽しく国語塾 北原白秋の詩を楽しむ」 「生き生き講座・音楽鑑賞教室・レディスセミナー合同 クリスマスコンサート」
磯 部 哲 夫	全日本音楽教育研究会	平成24年10月27日国立音楽大学に於ける大学部会において本学の教職実践演習の教育実践について報告。また、分科会において「音楽大学におけるキャリア支援」について討論。
	郡山女声合唱団	ヴォイストレーニング、歌唱におけるフレージングの処理法を講義。
	郡山男声合唱団「ドンカラック」	発声法、合唱における楽曲アナリゼをアドバイス。
	会津演奏家連盟	会員 平成24年11月11日会津稽古堂に於ける音大受験生による発表会において受験生に助言、また会長、事務局長に総評を述べた。
	高声会	会員

